



# HPE Aruba Networking Central

## 基本操作ガイド

～AP 編 (AOS10)～

日本ヒューレット・パッカーード合同会社  
Aruba 事業統括本部

## 内容

1.	はじめに.....	5
1.1.	本資料について.....	5
1.2.	注意事項.....	5
1.3.	Software Version.....	5
2.	Central へ AP のオンボーディング.....	6
2.1.	サブスクリプション、デバイスの追加方法とサブスクリプションの割り当て.....	6
2.2.	グループ・サイト・ラベルの作成方法.....	6
3.	AP のプロビジョニング.....	6
4.	AP の起動.....	7
4.1.	AP を起動する前に.....	7
4.2.	電源の投入.....	7
4.3.	コンソールケーブルを用いての IP アドレス設定.....	7
5.	AP 基本設定.....	10
5.1.	各 AP の AP 名・IP アドレス設定.....	10
5.2.	NTP 設定.....	12
5.2.1.	時刻同期の確認1 (GUI).....	13
5.2.2.	時刻同期の確認2 (GUI コンソール).....	13
5.3.	AppRF.....	14
5.4.	工場出荷状態への戻し方.....	16
5.4.1.	グループを使った AP の初期化.....	16
5.4.2.	リモートコンソールからの初期化.....	16
5.4.3.	CLI からの初期化.....	16
5.4.4.	リセットボタンからの初期化.....	17
6.	有線ポート設定.....	19
7.	SSID の設定.....	23
7.1.	SSID の作成手順.....	23
7.2.	SSID の設定例.....	26
7.2.1.	設定例)オープン認証(暗号/認証なし).....	26
7.2.2.	設定例)WPA3-PSK.....	29
7.2.3.	設定例)WPA3-PSK+MAC 認証 (Cloud Auth).....	32
7.2.4.	設定例)802.1x Cloud Auth 利用.....	40
7.2.5.	設定例)802.1x External Radius 利用.....	47
7.2.6.	設定例)Dynamic VLAN(External Radius 利用).....	50
7.2.7.	設定例)クラウドゲスト.....	54
7.2.8.	設定例)Central ゲスト(メール認証).....	63
7.3.	SSID の隠蔽.....	70
7.4.	ユーザ同士の通信制御 (User Isolation) について.....	71
7.5.	時間ベースの SSID 制御.....	72
8.	アラートとレポート.....	74
8.1.	アラートの設定方法.....	74
8.2.	レポートの出力方法.....	75
9.	フロアプラン.....	78



## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

10. AIOPs.....	83
11. メンテナンス.....	84
11.1. Version Up について.....	84
11.2. ツール.....	85
11.3. リモートコンソール.....	86
12. AP の削除.....	87
13. 不具合かと思ったら.....	87



## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

以下の表に、本文書の修正点を示します。

表 1: 改訂履歴

版数	主な変更内容
第1版	初版発行





## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

### 1. はじめに

#### 1.1. 本資料について

本資料は Aruba Central におけるアクセスポイント(AOS10)の基本操作、設定についてサンプル構成を用いた設定例を紹介しています。

#### 1.2. 注意事項

本資料は弊社内において基本動作等を確認したものであり、お客様の環境における動作の保証をしているものではありません。また、Windows, Windows Server など Aruba で取り扱っていない製品を使用して説明しているため、設定内容における保証は致しかねます。構成を構築する上での参考にしていただくドキュメントであることを予めご了承ください。本資料の内容は予告なく変更される場合があります。

Central を初めて使われる方は Central 基本操作ガイド(入門編)をはじめに参照いただくことを推奨いたします。

<https://www.hpe.com/psnow/doc/a00143744jpn>

#### 1.3. Software Version

本資料は Aruba Central 2.5.8 を元に作成しております。

※一部キャプチャ画像が最新の Central 画面と異なる場合がございます。ご了承ください。



## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

## 2. Central へ AP のオンボーディング

### 2.1. サブスクリプション、デバイスの追加方法とサブスクリプションの割り当て

Central へ AOS10 AP をオンボーディングするには以下のことが GLP で完了している必要があります。

- Central で管理する AP 数分のサブスクリプションが GLP に登録されていること
- AP が GLP へ登録されていること
- サブスクリプションが AP に割り当てられていること

サブスクリプション、デバイスの追加方法とサブスクリプションの割り当てに関しては、Central 設定入門ガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/psnow/doc/a00143744jpn>

### 2.2. グループ・サイト・ラベルの作成方法

Central 内で事前に AP を割り当てるためのグループ(作成必須)・サイト(作成推奨)・ラベル(オプション)を作成する必要があります。

グループ・サイト・ラベルそれぞれの機能説明・作成方法に関しては、以下 Central 設定入門ガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/psnow/doc/a00143744jpn>

## 3. AP のプロビジョニング

上記で作成したグループ・サイト・ラベルに AP を割り当てます。グループへ AP を割り当てる際には“Central でオンラインになったことがあるデバイス”と“Central で一度もオンラインになったことがないデバイス”で操作方法が異なります。

それぞれの操作方法に関しては、以下 Central 設定入門ガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/psnow/doc/a00143744jpn>



## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

## 4. AP の起動

### 4.1. AP を起動する前に

AP が AOS10 のデフォルトイメージで起動してくることを確認ください。AOS6 or AOS8 のデフォルトイメージで起動する場合、AOS10 のイメージへバージョンアップしてください。AOS6 or AOS8 で既存の設定がある場合、**AOS10 のイメージへバージョンアップすると設定は初期化されるためご注意ください。**

AP は初期値として IP アドレスが設定されておりません。**DHCP サーバが動作をしている環境、もしくはコンソールケーブルをご用意ください。**DHCP サーバを利用する場合は、配布をする Default Gateway に通信が可能な環境で行ってください。

### 4.2. 電源の投入

AP には電源アダプタ、もしくは PoE にて給電を行うことができます。

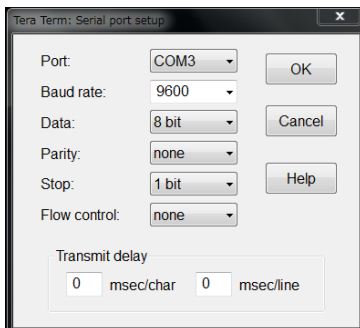
\* モデルによって起動に必要な電力が違います。詳しくはアクセスポイントのデータシート等を確認ください。

### 4.3. コンソールケーブルを用いての IP アドレス設定

コンソールケーブルは AP の製品により異なります。コンソールケーブルは同梱されておらず別売りとなっておりますので、ご注意ください。

ターミナルソフト設定

Baud rate:9600 , Data:8bit , Parity: none , Stop:1bit , Flow control: none に設定をし、電源が入っていない AP にコンソールケーブルを接続します。



#### ① 電源の投入

アダプタもしくは、PoE から AP に給電を行います。

#### ② Boot の停止

AP に IP アドレスを振るためには、Boot 途中で "Hit <Enter> to stop autoboot:" が表示されますので、このメッセージが出たら Enter を押し Boot を停止させます。プロンプトが "apboot>" になることを確認ください。

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

```
COM5 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Validating image 0...
Uncompressing image 0...
Booting image 0...

APBoot 2.5.3.7 (build 74353)
Built: 2020-02-18 at 20:21:32

Model: AP-505H
I2C: ready
DRAM: 1 GiB
NAND: ECC BCH-8, ONFI, Manuf ID: 0xef, Chip ID: 0xf1 (Winbond W29N01HV), page s
ize: 2048, OOB size: 64, device size: 128 MiB
Power: 802.3af POE
In: serial
Out: serial
Err: serial
Net: eth0
Radio: bcm47622#0,bcm47622#1
Reset: warm
FIPS: passed
このメッセージが表示された
Hit <Enter> to stop autoboot: 0
apboot>
```

”Hit <Enter> to stop autoboot:”は電源投入後、3, 4 秒で表示されます。

#### ③ IP Address/Subnet Mask/Default Gateway/DNS の設定

下記のコマンドで IP Address/Subnet Mask/Default Gateway を指定します。

```
setenv ipaddr <ip アドレス>
```

```
setenv netmask <netmask>
```

```
setenv gatewayip <default gateway アドレス>
```

```
setenv dnsip <DNS Server アドレス>
```

```
apboot> setenv ipaddr 192.168.100.201
apboot> setenv netmask 255.255.255.0
apboot> setenv gatewayip 192.168.100.1
apboot> setenv dnsip 8.8.8.8
apboot>
```

#### ④ 設定内容の確認

“printenv”コマンドで設定されている内容があるかを確認します。

```
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
apboot> printenv
autoload=n
autostart=yes
baudrate=9600
boardname=Oban
bootargs=console=ttyAMA0,9600n8 rdinit=/sbin/init ubi.mtd=pdata ubi.mtd=aos
bootcmd=boot ap
bootdelay=2
bootfile=arm32.ari
dnsip=8.8.8.8
ethact=eth0
ethaddr=20:4c:03:d4:c7:b6
gatewayip=192.168.100.1
ipaddr=192.168.100.201
mtddevname=aos
mtddevnum=3
mtdids=nand0=nand0
mtdparts=mtdparts=nand0:3m(apboot),512k(panic-dump),2m(pdata),-(aos)
netmask=255.255.255.0
os_partition=0
partition=nand0,3
servername=aruba-master
stderr=serial
stdin=serial
stdout=serial

Environment size: 560/65531 bytes
apboot>
```



## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

\* コマンドが間違っていた場合は反映されません。再度設定をやり直してください。

### 設定内容の保存・起動

“ saveenv ” コマンドで設定を書き込み、“ boot ”コマンドで再起動します。

```
apboot> saveenv
Saving Environment to UBI...
Writing to redundant UBI... done
apboot> boot
```

起動後 Central 接続前は User:admin Password:AP のシリアルナンバー、Central 接続後は User:admin Password:Central のグループで設定したパスワード”でログイン後、“show ip interface brief ”で設定した内容が反映されていることが確認できます。



## Technical Note


### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

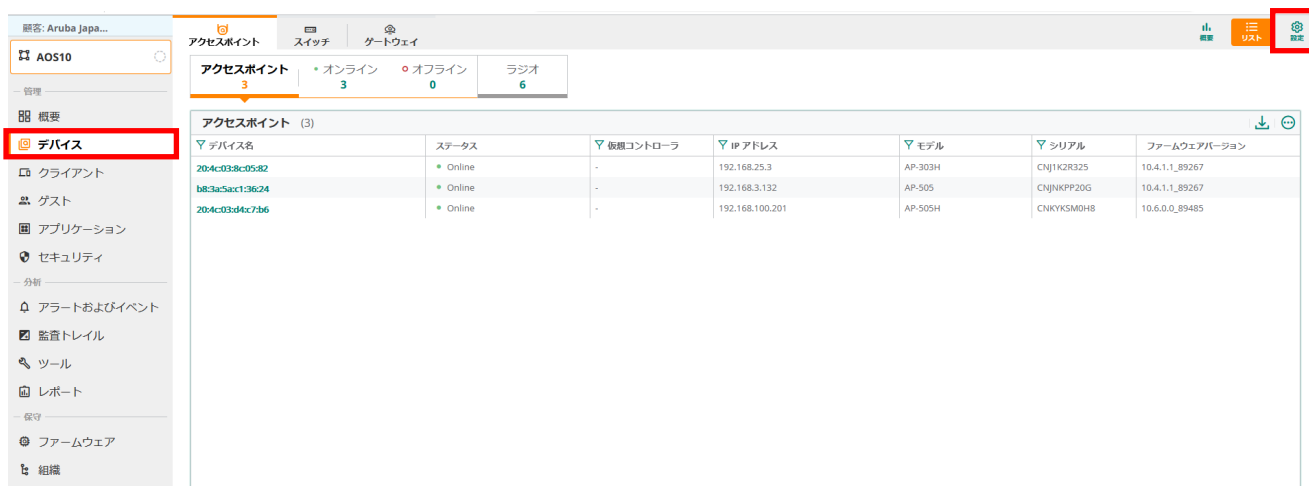
## 5. AP 基本設定

### 5.1. 各 AP の AP 名・IP アドレス設定

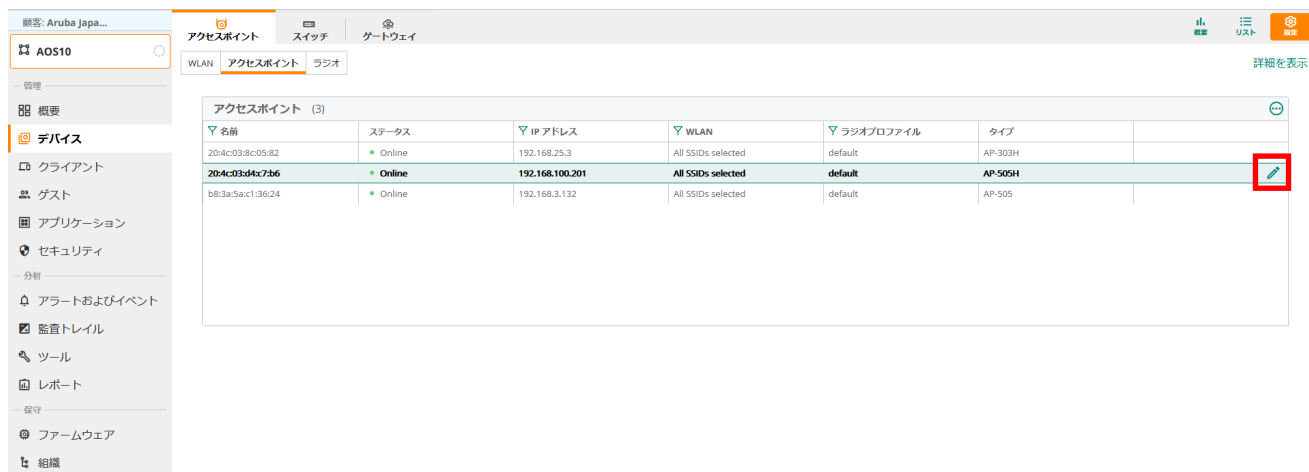
① フィルターから AP が所属しているグループを選択



② デバイスマニューを選択し、右上に表示される  をクリックして、設定変更画面へ移動します。



③ 設定をする AP にカーソルを当てると、  が出現しますのでクリックをします。



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

- ④ 名前を編集し、アクセスポイントの IP アドレスをスタティックで設定し、“設定の保存”ボタンをクリック  
\* アドレスを変更した場合は再起動が促されます。自動で再起動は行われません。

名前: TEST-505H

アクセスポイントの IP アドレス:  IP アドレスを DHCP サーバーから取得  
 スタティック

ⓘ スタティック IP が有効になっていない可能性があります。DHCP に変更してから、[システム] > [一般] > [管理 VLAN のカスタマイズ] に移動し、スタティック IP を設定してください。

IP アドレス:	192.168.100.201
ネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	192.168.100.1
DNS サーバー:	8.8.8.8
ドメイン名:	

Cancel Save Settings

- ⑤ 再起動するため右上の アイコンをクリックして、デバイス一覧に戻る。  
AP 名、IP アドレスの変更をしたデバイスを選択すると“再起動”タブが表示されるため、それをクリックして再起動する

デバイス名	ステータス	監視コントローラ	IP アドレス	モデル	シリアル	ファームウェアバージョン
204c-0928-c05a02	Online	-	192.168.25.3	AP-303H	CNJ1K2R325	10.4.1.1_89267
083a5a113674	Online	-	192.168.3.132	AP-506	CNINKP206	10.4.1.1_89267
TEST-505H	Online	-	192.168.100.201	AP-505H	CNKYKSMOHB	10.6.0.0_89485

1 item(s) selected クリア

- ⑥ 確認画面にて“再起動”を選択し、再起動する

再起動

再起動しますか?

キャンセル 再起動

再起動が終わったら、該当デバイスがオンラインになっていることを確認し、AP 名と IP アドレスが変更されていることをご確認ください。

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

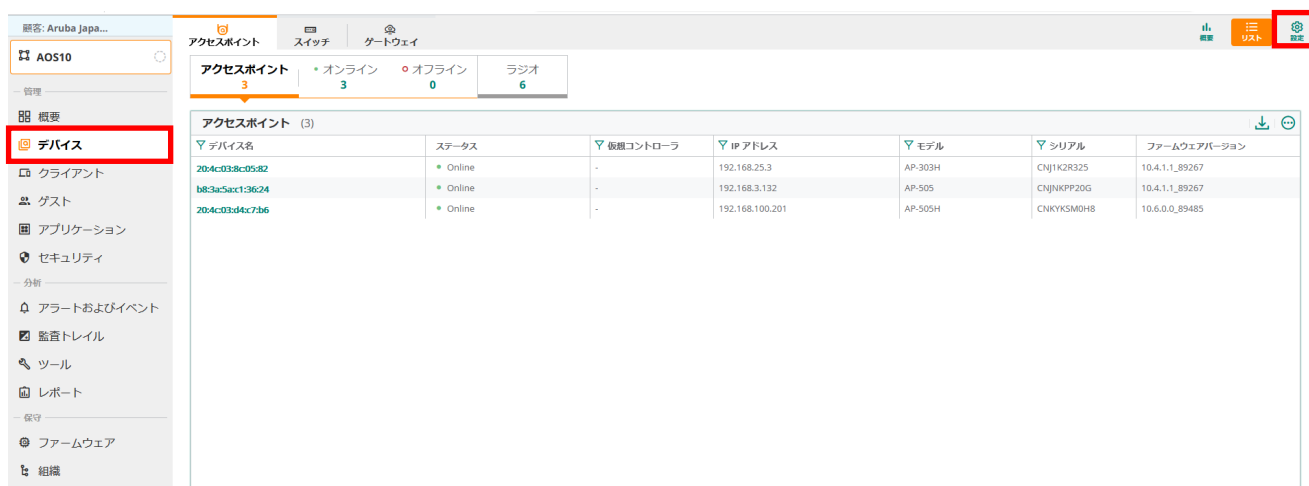
## 5.2. NTP 設定

AP はデフォルトで pool.ntp.org と時刻同期をします。他の任意の NTP サーバと時刻同期を行う場合に設定を行います。不具合発生をした場合には他機器とのログ比較を行う必要が出てきますので、設定していただくことを推奨いたします。

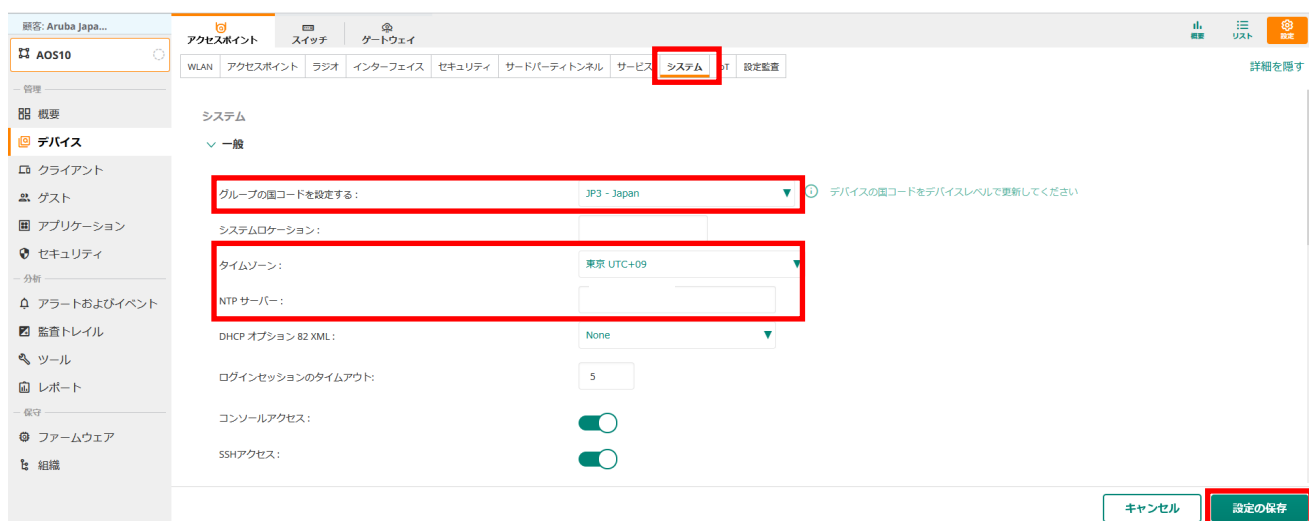
### ① フィルターから AP が所属しているグループを選択



### ② 左メニューよりデバイスを選択し、右上の をクリック



### ③ 右側にある をクリックし、“システム”タブを選択 NTP サーバーのアドレスを入力し、タイムゾーンは“Tokyo UTC +09”に変更し、“設定の保存”ボタンをクリック





## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### 5.2.1. 時刻同期の確認1 (GUI)

- ① グループを選択後、メニューから“ツール”を選択し、 タブをクリック  
デバイスタイプとデバイスを選択してから、適当なコマンドを選んで“実行”をクリック

実行結果の時間から時刻が同期されていることを確認 ※ UTC で表示されます。

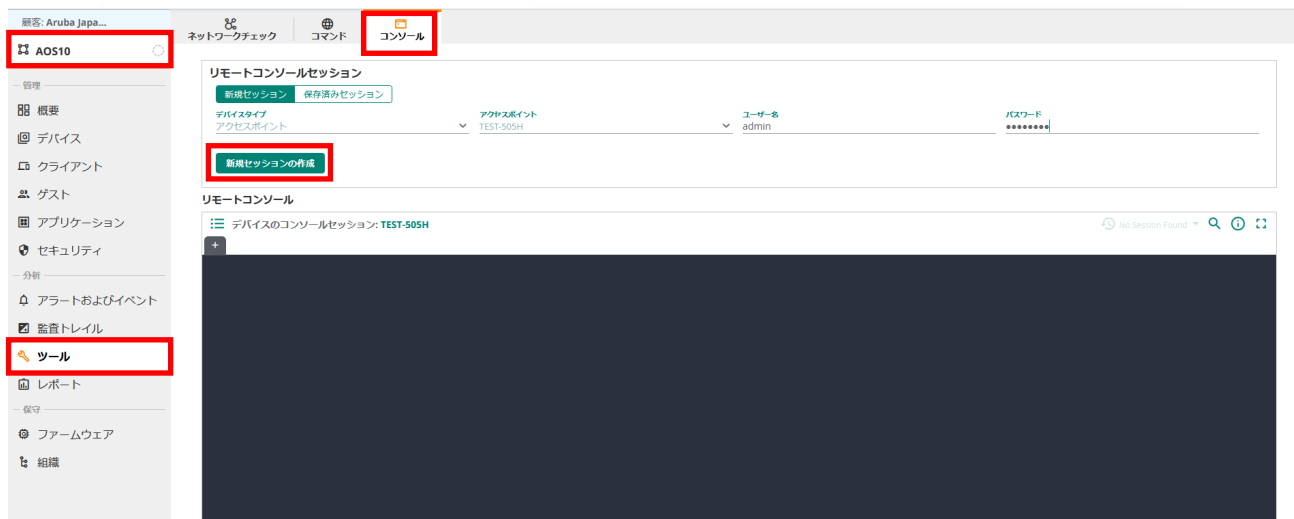


#### 5.2.2. 時刻同期の確認2 (GUI コンソール)

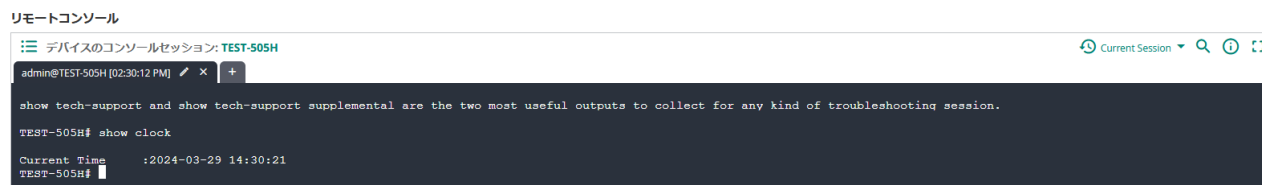
Central では GUI から AP のコンソールが開けます。

- ① グループを選択後、メニューから“ツール”を選択し、 タブをクリック
- ② コンソールを開きたいデバイスタイプ・デバイス名・ユーザー名・パスワードを入力して“新規セッションの作成”をクリック  
※Central 管理のデバイスのユーザー名・パスワードは基本的に、admin/グループのパスワード になります。

コンソールで“show clock”で時刻を確認



- ③ “show clock”の結果は JST で表示されます。



## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

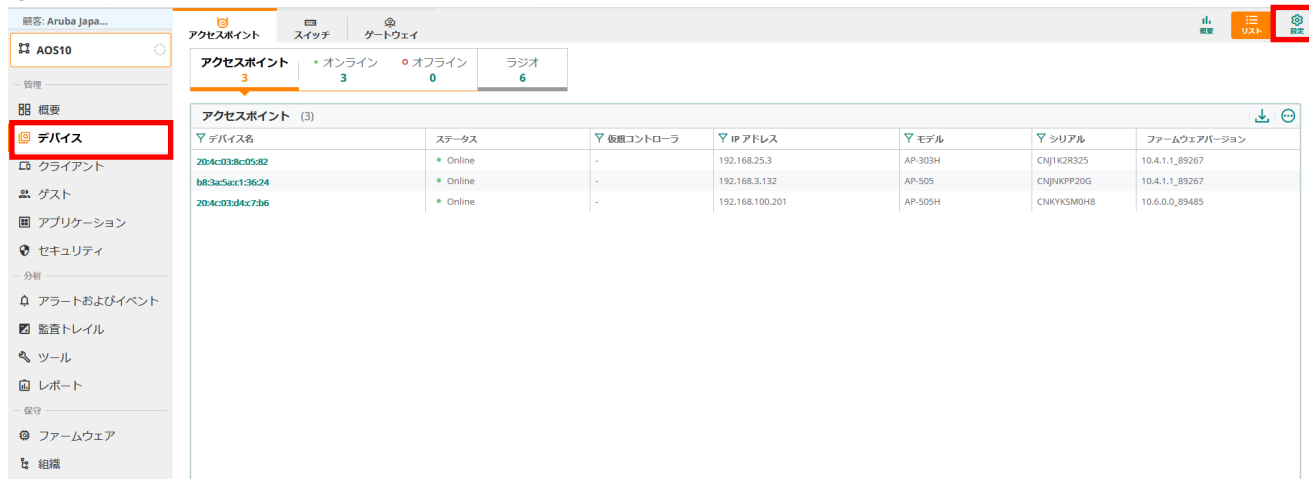
#### 5.3. AppRF

AppRF を有効にすることで、AP を通過するパケットから利用しているアプリケーションを特定することが可能になります。SSID のアクセスルールと組み合わせることにより、特定のアプリケーションに対して QoS を付与や、拒否することが可能となります。必要によって設定を行ってください。

##### ① フィルターから AP が所属しているグループを選択



##### ② 左メニューよりデバイスを選択し、右上の をクリック



##### ③ “詳細を表示”をクリックし、サービスタブをクリック

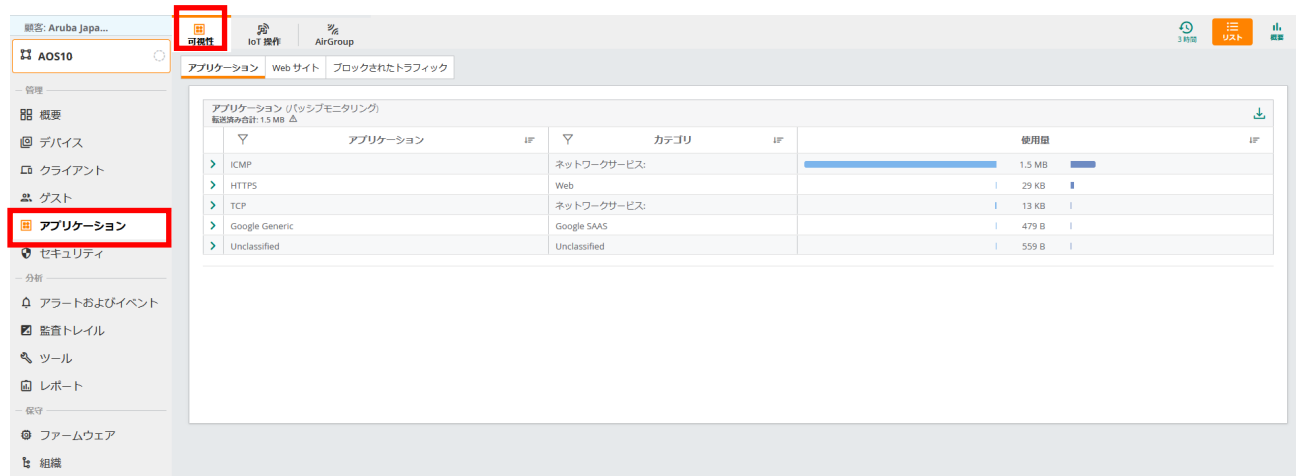
“AppRF”から“詳細なパケット検査”ですべてを選択し、“アプリケーションのモニタリング”を有効にして“設定の保存”をクリック



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

- ④ 左メニューよりアプリケーションを選択し、 を開くとクライアントが利用したアプリケーションおよび Web サイトのカテゴリが表示されるようになります。



The screenshot displays the HPE Aruba Networking Central AOS10 interface. The left sidebar menu has the 'アプリケーション' (Application) option highlighted with a red box. The main content area shows the 'アプリケーション (リッパモニタリング)' (Application (Rippa Monitoring)) section, with a sub-tab 'アプリケーション' selected. Below this, a table lists applications and their categories. The table has columns for Application, IP, Category, IP, and Usage. The data is as follows:

アプリケーション	IP	カテゴリ	IP	使用量	IP
ICMP		ネットワークサービス		1.5 MB	
HTTPS		Web		29 KB	
TCP		ネットワークサービス		13 KB	
Google Generic		Google SAAS		479 B	
Unclassified		Unclassified		559 B	

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

## 5.4. 工場出荷状態への戻し方

### 5.4.1. グループを使った AP の初期化

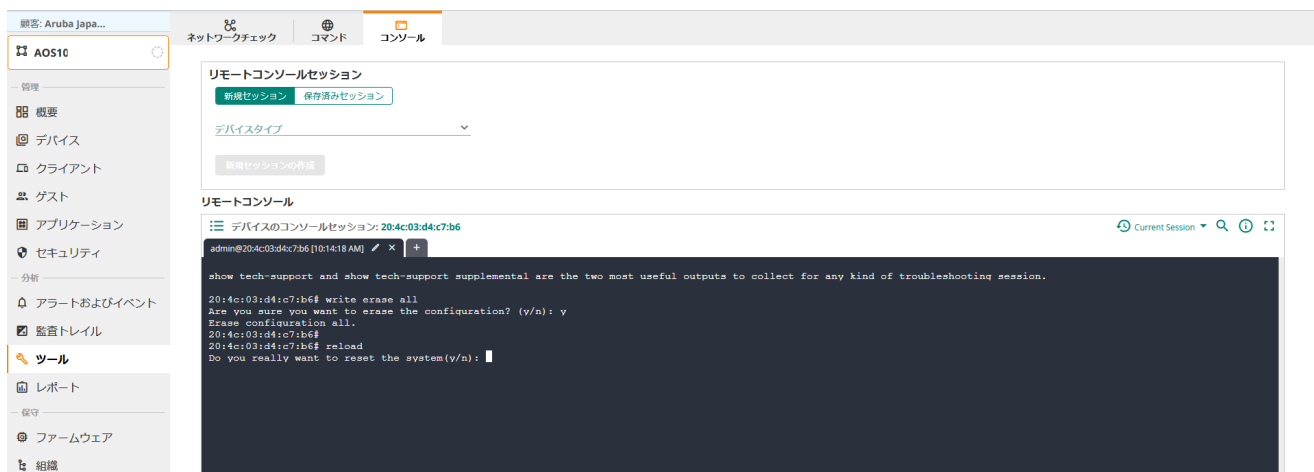
設定の入っていない新規グループを作成し、AP を作ったグループに移すことで設定の初期化をします。グループの作り方と AP の割り当てについては Central 設定入門ガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/psnow/doc/a00143744jpn>

### 5.4.2. リモートコンソールからの初期化

GUI から AP の CLI にリモート接続ができます。

- ① グループを選択し、ツールメニューをクリックし、コンソールタブをクリック
- ② CLI を開く AP を選択し、ユーザ名・パスワードを入力して“新規セッションの作成”をクリック
- ③ CLI が起動したらログイン後 “write erase all” を実行し初期化する
- ④ “reload” を実行し再起動をします。



- ⑤ グループからアクセスポイントを消去します。※消去を行わないと再起動後同じグループに所属し

### 5.4.3. CLI からの初期化

AP の電源の OFF/ON を行います。Boot 途中で “Hit <Enter> to stop autoboot:” が表示されますので、このメッセージが出たら Enter を押し Boot を停止させます。プロンプトが “apboot>” になった後、“factory\_reset” コマンドを入れます。コンフィグの初期化が終わると “apboot>” が表示されますので、“boot” と入れ再起動をすると初期化されます。

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

```
COM5 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
FIPS: passed
Hit <Enter> to stop autoboot: 0
apboot>
apboot> factory_reset
Clearing state... Checking OS image and flags
Image is signed; verifying checksum... passed
Preserving image partition 0
Erasing flash sector @ 0x3a0000...OK
Device 0: nand0... is now current device
Erasing UBIFS ...OK
Remove UBI volume ubifs (id 0)
Creating dynamic volume ubifs of size 63361024
Device 1: nand1... is now current device
done
Purging environment... preserving os_partition (0)
Erasing flash...
Writing to flash... .....done
Erasing flash...
Writing to flash... .....done
done
apboot> boot
```

#### 5.4.4. リセットボタンからの初期化

全ての AP にはリセットボタンがついています。

リセットボタンを押しながら電源投入し、約 5 秒後リセットボタンをはなすことで初期化を行うことができます。



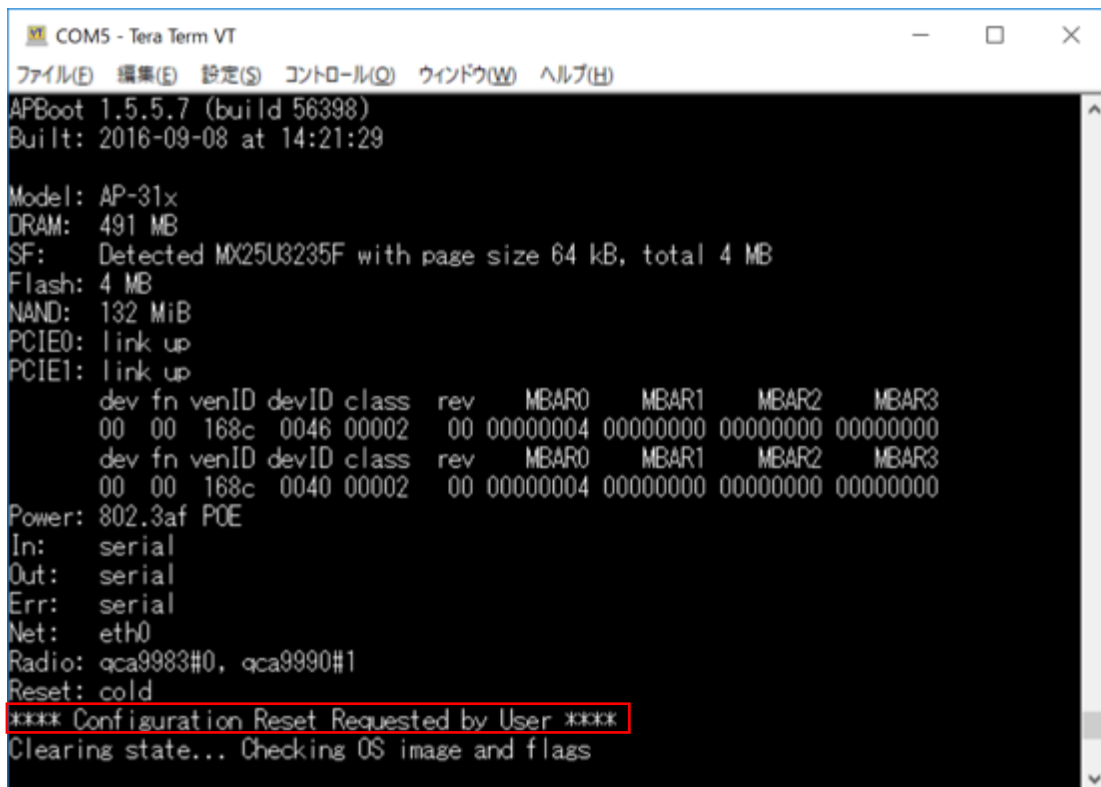
AP-315 リセットボタン位置

AP-345 リセットボタン位置



## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)



```
COM5 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
APBoot 1.5.5.7 (build 56398)
Built: 2016-09-08 at 14:21:29

Model: AP-31x
DRAM: 491 MB
SF: Detected MX25U3235F with page size 64 kB, total 4 MB
Flash: 4 MB
NAND: 132 MiB
PCIE0: link up
PCIE1: link up
  dev fn venID devID class rev  MBAR0  MBAR1  MBAR2  MBAR3
  00 00 168c 0046 00002 00 00000004 00000000 00000000 00000000
  dev fn venID devID class rev  MBAR0  MBAR1  MBAR2  MBAR3
  00 00 168c 0040 00002 00 00000004 00000000 00000000 00000000
Power: 802.3af POE
In: serial
Out: serial
Err: serial
Net: eth0
Radio: qca9983#0, qca9990#1
Reset: cold
*** Configuration Reset Requested by User ***
Clearing state... Checking OS image and flags
```

コンソールケーブルで確認している場合には、“\*\*\* Configuration Reset Requested by User \*\*\* ” のメッセージが出るまで、リセットボタンを押し続けてください。

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

## 6. 有線ポート設定

有線 Port は設定をしなければ利用することができません。本設定では有線ポートを L2SW として利用する方法を紹介します。

### ① フィルターよりグループを選択



### ② 左メニューよりデバイスを選択し、右上の をクリック

デバイス名	ステータス	仮想コントローラ	IP アドレス	モデル	シリアル	ファームウェアバージョン
204c-0338c0582	Online	-	192.168.25.3	AP-303H	CNJ1K2R325	10.4.1.1_89267
b83a5ac13624	Online	-	192.168.3.132	AP-505	CNJNKP20G	10.4.1.1_89267
204c-033d4c7b6	Online	-	192.168.100.201	AP-505H	CNKYKSM0H8	10.6.0.0_89485

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

- ③ “詳細を表示”をクリックし、インターフェイスタブをクリック  
“+ポートプロファイルの追加”から新規ポートプロファイルを作成



名前: Aruba Japa...  
アクセスポイント  
WLAN アクセスポイント ラジオ **インターフェイス** セキュリティ サードパーティトンネル サービス システム IoT 設定監査  
詳細を隠す

有線  
有線ポートプロファイル(1)

Display Name	Actions
default_wired_port_profile	

+ ポートプロファイルの追加 1 ポートプロファイル

> アップリンク

- ④ 名前は任意のものを設定し、当インターフェイスプロファイルを割り当てるポートを選択  
\* PoE 給電を行うことが可能な有線ポートを持つ AP もあるので、必要によって詳細設定を開き、PoE を”有効”と設定します。IP Phone や IP Camera に給電を行うことができます。  
“次へ”をクリック



名前: Aruba Japa...  
アクセスポイント  
WLAN アクセスポイント ラジオ **インターフェイス** セキュリティ サードパーティトンネル サービス システム IoT 設定監査  
詳細を隠す

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

名前: Test-Wired-Profile

ports: イーサネット...  
イーサネット...

詳細設定

速度/デュプレックス: 自動 自動

ポートモード: ダウンリンク/非ボンディング状態

Power over Ethernet (パワーオーバーイーサネット):

有線ポートを無効化する場合: なし

管理ステータス: 稼働中

スパンニングツリー:



## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑤ モードをアクセスにし、“次へ”をクリック

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

モード: **アクセス**

トラフィック転送モード:  ブリッジ  トンネル  混合

アクセス VLAN: 100

VLAN の割り当てルール

No data to display

+ ルールの追加 0 ルール

#### ⑥ Trusted ポートを有効にします。Trusted ポートを無効にすると、MAC 認証、802.1x 認証を有効にすることができる “次へ” をクリック

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

セキュリティレベル: 802.1X 認証 MAC 認証 ビジター オープン

△ これはセキュリティ保護されていないネットワークです。ユーザーは認証なしでネットワークに接続します。

Trusted ポート:

> 詳細設定

キャンセル 戻る 次へ

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑦ Trusted ポートを有効としたため、アクセスルールは制限なしになる “次へ”をクリック

The screenshot shows the 'Access Rules' configuration page in the HPE Aruba Networking Central interface. The 'Trusted' option is selected, and a warning message is displayed:

△[制限なし] オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。

Buttons at the bottom: キャンセル, 戻る, 次へ

#### ⑧ 概要を確認し、間違いがなければ“終了”をクリック

The screenshot shows the 'Summary' step of the configuration process. The 'Summary' tab is selected, and the configuration details are displayed:

ネットワーク概要		VLAN	
全般		VLAN モード	access
名前	Test-Wired-Profile	トラフィック転送モード	ブリッジ
SPEED	auto	VLAN	100
デュプレックス	auto	セキュリティ	
主な用途	employee	MAC 認証	無効
PoE	有効	アクセス	
管理ステータス	稼働中	認証済みユーザーのロール割り当て	無効
アップリンク	無効	MAC 認証のみのロールを強制	無効
		認証前のロール	無効
		コンピュータ認証を強制	無効

Buttons at the bottom: キャンセル, 戻る, 次へ


## Technical Note

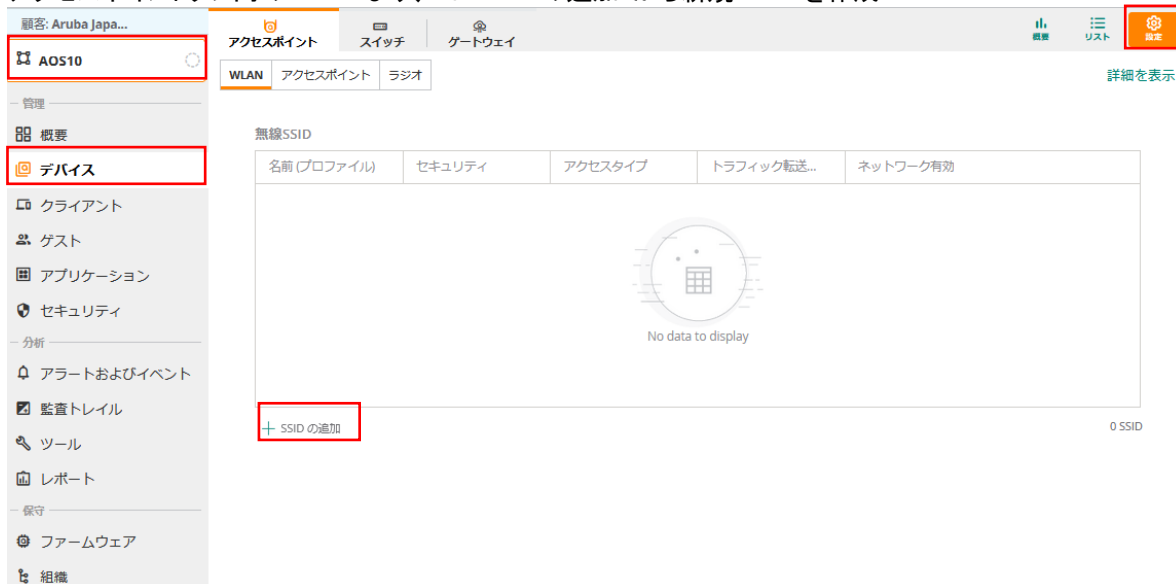
### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

## 7. SSID の設定

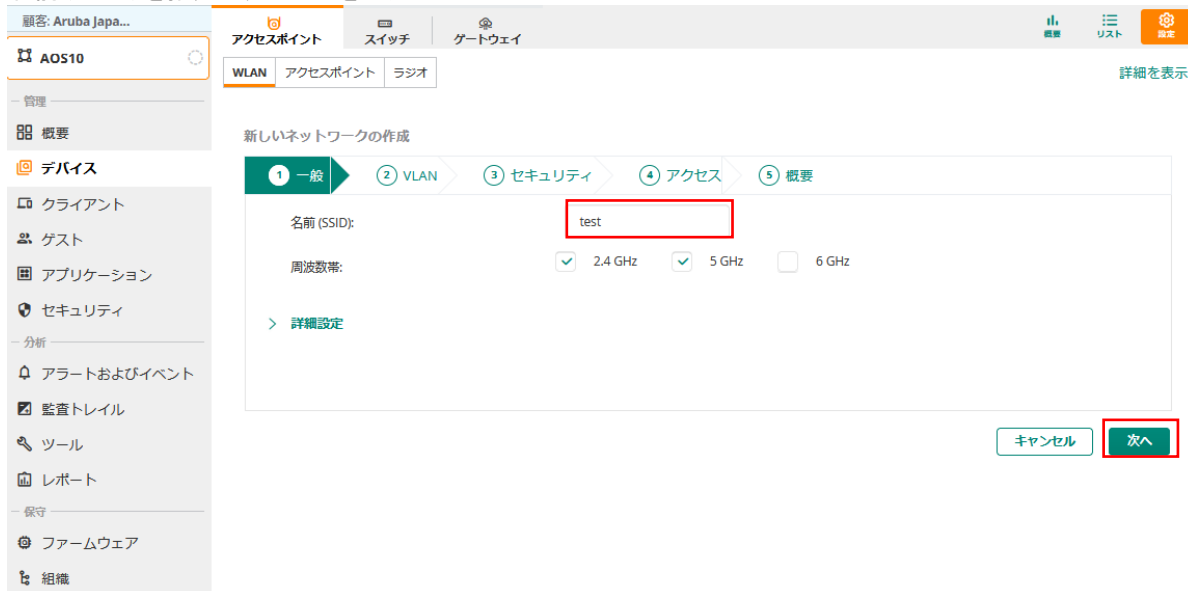
### 7.1. SSID の作成手順

基本的な SSID の作成フロー

- 1) フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択
- 2) 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- 3) アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成



- 4) 名前(SSID)を指定し、“次へ”をクリック



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 5) トラフィック転送モードとクライアント VLAN の割り当て設定をする

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
アクセスポイント  
スイッチ  
ゲートウェイ  
WLAN  
アクセスポイント  
ラジオ  
詳細を表示

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

トラフィック転送モード:  
 ブリッジ  トンネル  混合

クライアント VLAN の割り当て:  
 スタティック  ダイナミック

VLAN ID:  
1

複数の VLAN ID または単一の名前付き VLAN が許可されま  
ず。

> 名前付き VLAN を表示

キャンセル 戻る 次へ

#### トラフィック転送モード

”ブリッジ”…AP はブリッジとして動作を行い、トラフィックは接続先スイッチに転送されます。ネイティブ VLAN もしくは、接続先スイッチに設定された VLAN を指定します。

”トンネル”…トラフィックはトンネル経由でゲートウェイに転送されます。ゲートウェイに設定された VLAN を指定します。(GRE トンネルによる L2 延伸)

”混合”…ルールに基づいてフォワーディング・モード(Bridge もしくは Tunnel)と VLAN をクライアントに割り当てます。ルールには MAC アドレスやユーザー名等を指定可能です。

#### クライアント VLAN の割り当て

“スタティック”…“VLAN ID”で指定した VLAN と紐付けます。AP 側有線ポートに指定した VLAN Tag がついて出力されますので、AP と接続している Switch 側で Tag VLAN 設定をしてください。

“ダイナミック”…Radius Attribute の利用や、特定文字列等をトリガーにして Dynamic VLAN を行うことができます。有線側には指定した VLAN Tag がついて出力されますので、AP と接続している Switch 側で Tag VLAN 設定をしてください。

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 6) セキュリティレベルを設定

エンタープライズ WPA (2,3) Radius 利用/パーソナル WPA (2,3)-PSK/キャプティブポータル(web 認証)/オープン(暗号化なし)の設定を行う。エンタープライズ-内蔵 Radius 利用については、この画面からでもユーザ追加を行うことができる

The screenshot shows the '新しいネットワークの作成' (Create New Network) wizard in the 'セキュリティ' (Security) step. The 'セキュリティレベル' (Security Level) is set to 'エンタープライズ' (Enterprise), which is highlighted with a red box. Other options include 'パーソナル' (Personal), 'ビジター' (Visitor), and 'オープン' (Open). Below this, there are fields for 'キー管理' (Key Management) set to 'WPA3 パーソナル', 'パスワードの形式' (Password Format) set to '8 ~ 63 文字', and 'パスワード' (Password) and '再入力' (Re-enter) fields. At the bottom right, the '次へ' (Next) button is highlighted with a red box.

#### 7) アクセスルールを設定

ロールベース/ネットワークベース/制限なし のアクセス制御を設定し、“次へ”をクリックすると、

The screenshot shows the '新しいネットワークの作成' (Create New Network) wizard in the 'アクセス' (Access) step. The 'アクセスルール' (Access Rule) is set to '制限なし' (No Restrictions), which is highlighted with a red box. Below this, a warning message states: '△[制限なし] オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。' (Selecting the [No Restrictions] option allows full access to the network, which may cause potential security issues). At the bottom right, the '次へ' (Next) button is highlighted with a red box.


概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリックすると、SSID が作成され、しばらくしてから AP から SSID が出力し始める

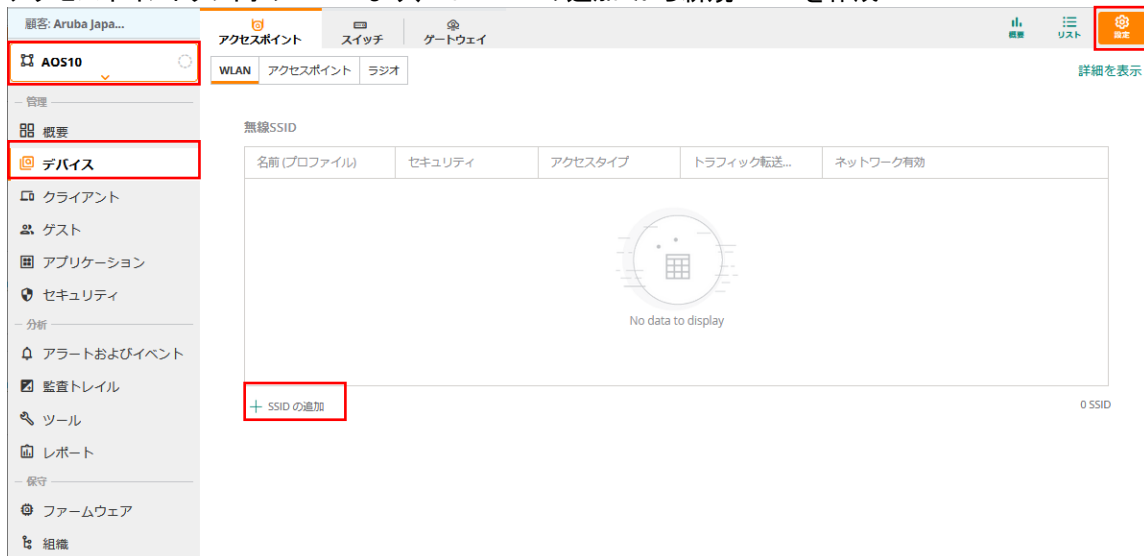
## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

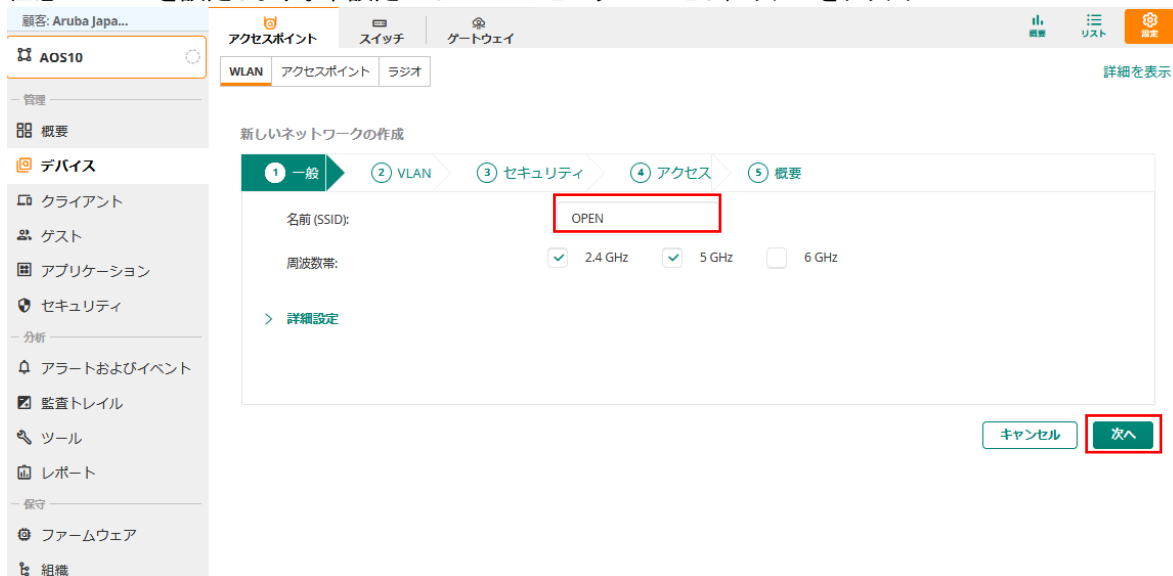
## 7.2. SSID の設定例

### 7.2.1. 設定例)オープン認証(暗号/認証なし)

- 1) フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択
- 2) 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- 3) アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成



- 4) 任意の SSID を設定します。本設定では“OPEN”という SSID とし、“次へ”をクリック



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 5) SSID と VLAN との紐付けを行う

本設定では、トラフィック転送モードを“ブリッジ”で設定を行う。クライアント VLAN の割り当ては、環境に合わせた設定を行い、“次へ”をクリック

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ  
WLAN | アクセスポイント | ラジオ  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
トラフィック転送モード:  ブリッジ  トンネル  混合  
クライアント VLAN の割り当て:  スタティック  ダイナミック  
VLAN ID: 1  
複数の VLAN ID または単一の名前付き VLAN が許可されません。  
名前付き VLAN を表示  
キャンセル 戻る 次へ

#### 6) 暗号なし設定となるため セキュリティレベルにて”オープン”を選択

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ  
WLAN | アクセスポイント | ラジオ  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
セキュリティレベル:  (エンタープライズ | パーソナル | ビジター | オープン)  
これはセキュリティ保護されていないネットワークです。ユーザーは認証なしでネットワークに接続します。  
キー管理: エンハンスドオープン  
暗号化: なし  
詳細設定  
キャンセル 戻る 次へ

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

7) 本設定では、アクセスルール制限をしないため、“制限なし”を選択し、“次へ”をクリック

顧客: Aruba Japa...

AOS10

アクセスポイント スイッチ ゲートウェイ

WLAN アクセスポイント ラジオ

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 **アクセス** 5 概要

アクセスルール

ロールベース ネットワークベース 制限なし

△[制限なし] オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。

キャンセル 戻る **次へ**


概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

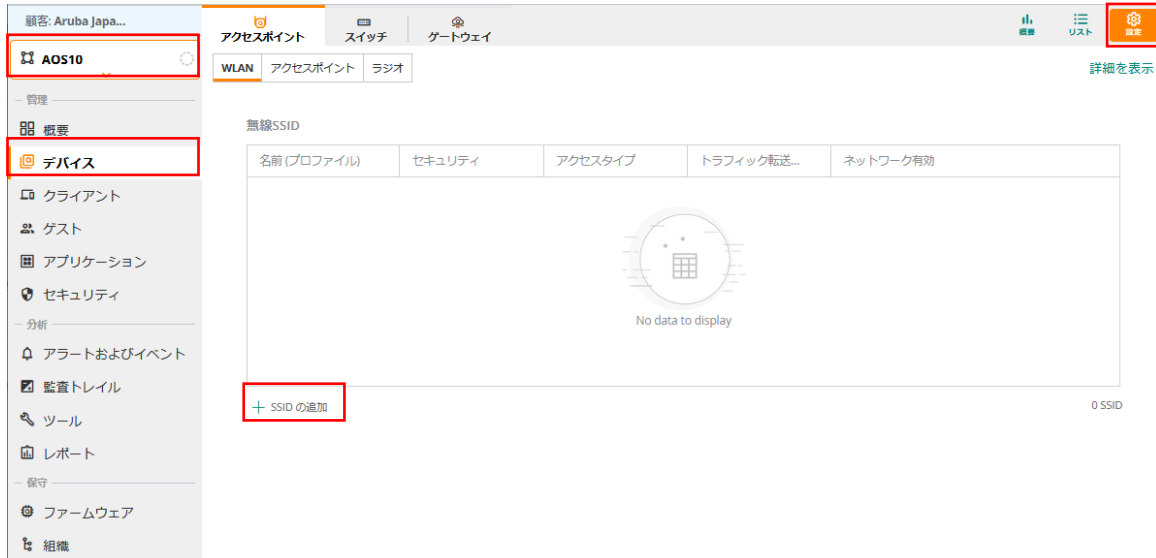


## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 7.2.2. 設定例)WPA3-PSK

- ① フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択
- ② 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- ③ アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成



顧客: Aruba Japa... | アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ | 概要 | リスト | 設定

WLAN | アクセスポイント | ラジオ

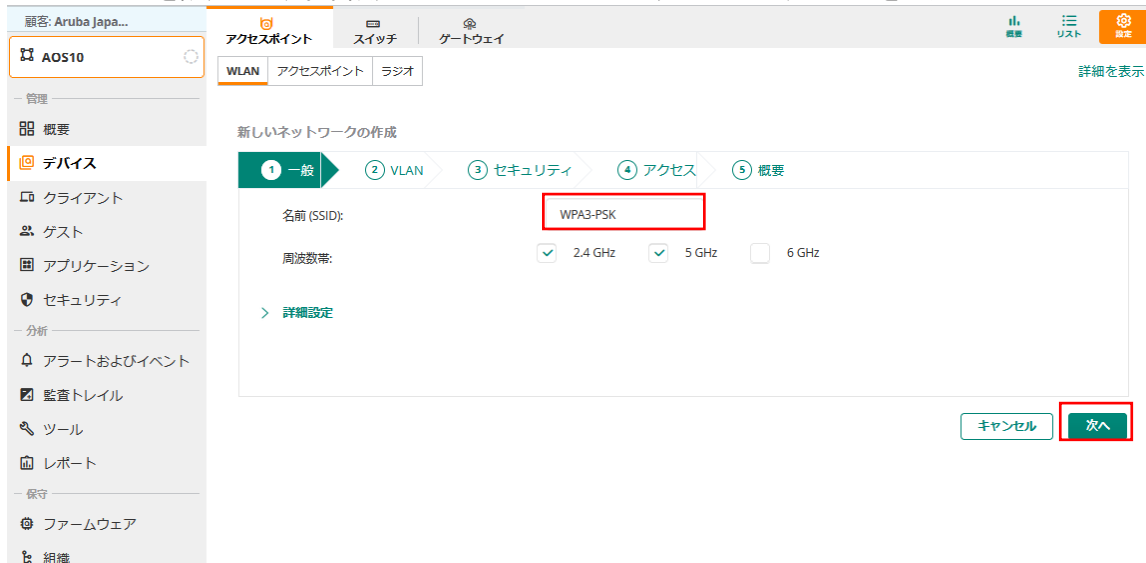
無線SSID

名前(プロファイル)	セキュリティ	アクセスタイプ	トラフィック転送...	ネットワーク有効
No data to display				

+ SSID の追加

0 SSID

- ④ 任意の SSID を設定します。本設定では“WPA3-PSK”という SSID とし、“次へ”をクリック



顧客: Aruba Japa... | アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ | 概要 | リスト | 設定

WLAN | アクセスポイント | ラジオ

新しいネットワークの作成

1 一般 > 2 VLAN > 3 セキュリティ > 4 アクセス > 5 概要

名前(SSID): WPA3-PSK

周波数帯:  2.4 GHz  5 GHz  6 GHz

> 詳細設定

キャンセル 次へ

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑤ SSID と VLAN との紐付けを行う

本設定では、トラフィック転送モードを“ブリッジ”で設定を行う。クライアント VLAN の割り当ては、環境に合わせた設定を行い、“次へ”をクリック

The screenshot shows the configuration interface for a new network in AOS10. The 'VLAN' step is active, showing options for traffic forwarding mode (Bridge, Tunnel, Hybrid) and client VLAN assignment (Static, Dynamic). The VLAN ID is set to 1. The 'Next' button is highlighted with a red box.

#### ⑥ セキュリティレベルにおいて、“パーソナル”を選択 パスフレーズ(8文字以上)を入力

The screenshot shows the configuration interface for a new network in AOS10, specifically the 'Security' step. The security level is set to 'Personal' and the passphrase length is set to '8-63 characters'. The passphrase input fields are highlighted with a red box.



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

- ⑦ 本設定では、アクセスルール制限をしないため、“制限なし”を選択し、“次へ”をクリック

顧客: Aruba Japa...

アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ

WLAN | アクセスポイント | ラジオ

新しいネットワークの作成

1 一般 | 2 VLAN | 3 セキュリティ | 4 **アクセス** | 5 概要

アクセスルール

ルールベース ネットワークベース **制限なし**

△[制限なし] オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。


キャンセル | 戻る | **次へ**

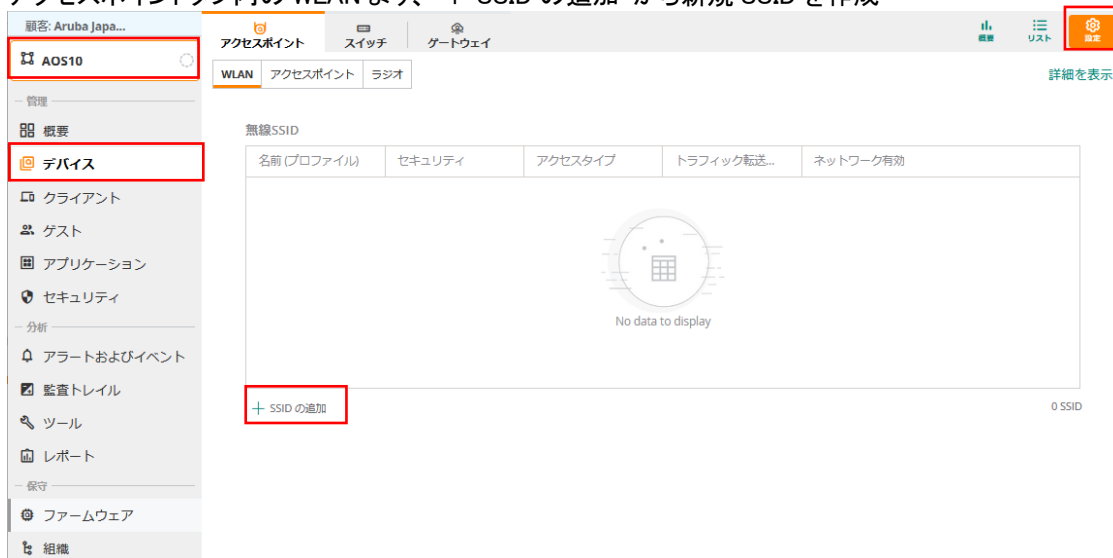
概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 7.2.3. 設定例)WPA3-PSK+MAC 認証 (Cloud Auth)

- ① フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択
- ② 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- ③ アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成



顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
管理  
概要  
デバイス  
クライアント  
ゲスト  
アプリケーション  
セキュリティ  
分析  
アラートおよびイベント  
監視トレイル  
ツール  
レポート  
保守  
ファームウェア  
組織

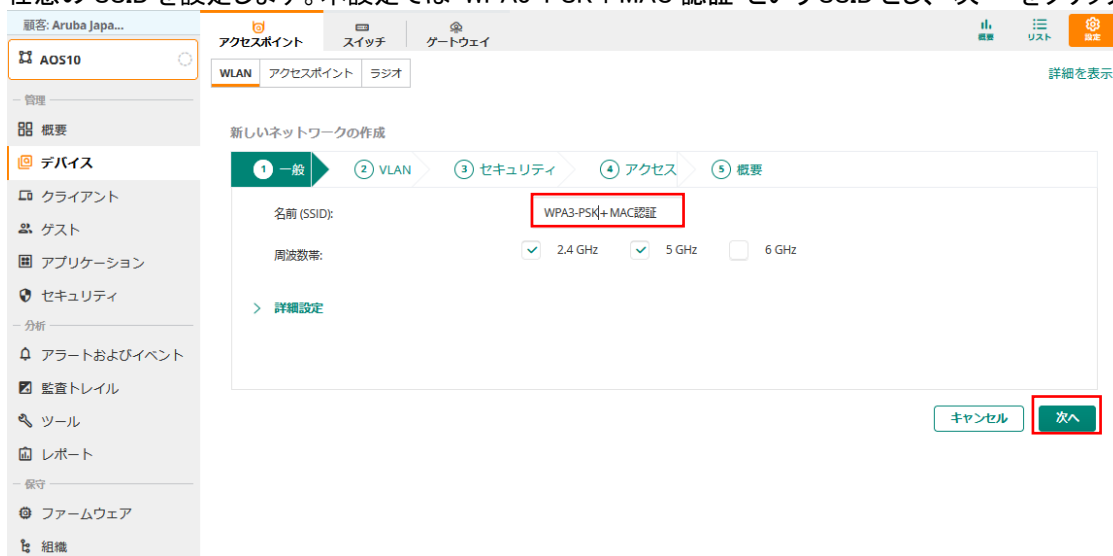
アクセスポイント スイッチ ゲートウェイ  
WLAN アクセスポイント ラジオ  
詳細を表示

無線SSID

名前 (プロファイル)	セキュリティ	アクセスタイプ	トラフィック転送...	ネットワーク有効
No data to display				

+ SSID の追加 0 SSID

- ④ 任意の SSID を設定します。本設定では“WPA3-PSK+MAC 認証”という SSID とし、“次へ”をクリック



顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
管理  
概要  
デバイス  
クライアント  
ゲスト  
アプリケーション  
セキュリティ  
分析  
アラートおよびイベント  
監視トレイル  
ツール  
レポート  
保守  
ファームウェア  
組織

アクセスポイント スイッチ ゲートウェイ  
WLAN アクセスポイント ラジオ  
詳細を表示

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

名前 (SSID): WPA3-PSK+MAC認証

周波数帯:  2.4 GHz  5 GHz  6 GHz

> 詳細設定

キャンセル 次へ

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑤ SSID と VLAN との紐付けを行う

本設定では、トラフィック転送モードを“ブリッジ”で設定を行う。クライアント VLAN の割り当ては、環境に合わせた設定を行い、“次へ”をクリック

The screenshot shows the '新しいネットワークの作成' (Create New Network) wizard in the 'VLAN' step. The 'トラフィック転送モード' (Traffic Transfer Mode) is set to 'ブリッジ' (Bridge). The 'クライアント VLAN の割り当て' (Client VLAN Assignment) is set to 'スタティック' (Static). The 'VLAN ID' is set to '1'. The '次へ' (Next) button is highlighted with a red box.

#### ⑥ セキュリティレベルにおいて、“パーソナル”を選択

パスフレーズ(8文字以上)入力後、詳細設定を開き MAC 認証を”有効” (認証サーバ項目が表示されるようになるので)、プライマリサーバとして、“Cloud Auth”を選択し、“次へ”をクリック

The screenshot shows the '新しいネットワークの作成' (Create New Network) wizard in the 'セキュリティ' (Security) step. The 'セキュリティレベル' (Security Level) is set to 'パーソナル' (Personal). The 'キー管理' (Key Management) is set to 'WPA3 パーソナル' (WPA3 Personal). The 'パスワードの形式' (Password Format) is set to '8 ~ 63 文字' (8 ~ 63 characters). The 'パスワード' (Password) and '再入力' (Re-enter) fields are filled with asterisks. The '詳細設定' (Advanced Settings) section is expanded, and the 'MAC 認証' (MAC Authentication) toggle is turned on. The 'プライマリサーバ' (Primary Server) is set to 'Cloud Auth'. The '次へ' (Next) button is highlighted with a red box.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

- ⑦ 本設定では、アクセスルール制限をしないため、“制限なし”を選択し、“次へ”をクリック

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 **アクセス** 5 概要

アクセスルール

ロールベース ネットワークベース 制限なし

△制限なし オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。

キャンセル 戻る **次へ**

概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

- ⑧ MAC アドレスの登録  
Aruba Central 側に MAC アドレスを登録します。“グローバル”レベルの階層から“セキュリティ”→“認証およびポリシー”を選択、“設定” をクリックして、“MAC アドレス登録の管理”をクリック

顧客: Aruba Japa...

RAPIDS **認証およびポリシー** ゲートウェイ IDS/IPS ファイアウォール

**グローバル**

ポリシー

ユーザーアクセスポリシー  
組織の ID ストアを使用してクライアントを認証し、ネットワークへのアクセスを制御します。 **MPSK の管理**

クライアントアクセスポリシー  
MAC アドレスに基づいてネットワーク内のクライアントを認証し、プロファイリングに基づいてクライアントのアクセスを制御します。 **MACアドレス登録の管理**

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑨ +ボタンから MAC アドレスを登録する(後にデフォルトロールの割り当てにより警告がなくなることを確認する)



#### MAC ベースのクライアントを追加

##### MAC アドレス +

784f:xxxx:xxxx

例: 0123456789AB または 01:23:45:67:89:AB

##### クライアント名

macbook

キャンセル


保存

#### ⑩ MAC アドレスが一覧に追加されていることを確認する(後にデフォルトロールの割り当てにより警告がなくなることを確認する)



MAC	クライアント名
78:4f:43:58:14:8d	macbook

#### ⑪ ロールの作成

フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択、左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック。“セキュリティ”タブを開き、“ロール”から+ボタンでロールを作成。ロール設定により、アクセスルールの設定

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

が可能となる。

The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface for AOS10. The left sidebar contains navigation options like '管理', '概要', 'デバイス', 'クライアント', 'ゲスト', 'アプリケーション', 'セキュリティ', 'アラートおよびイベント', '監査トレイル', 'ツール', 'レポート', 'ファームウェア', and '組織'. The main content area is titled 'セキュリティ' and includes sections for '認証サーバー', 'サーバーグループ', 'MPSK ローカル', and 'ロール'. The 'ロール' section has a '+' button highlighted with a red box. Below it, a list of roles is shown: 'WPA3-PSK + MAC認証', 'default\_wired\_port\_profile', and 'wired-SetMeUp'. To the right, the '選択したロールのアクセスルール' section shows 'Allow any to all destinations'.

- ⑫ ロール名として“allow\_all”を設定(本設定では、アクセス先を制限しないロールを設定する)

The screenshot shows a dialog box titled 'ロールの追加'. The 'ルール:' field contains the text 'allow\_all'. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'キャンセル' and 'OK'.

- ⑬ 作成したロールが反映されたことを確認(本設定では、アクセス先を制限しないロールを設定する)


The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface for AOS10, similar to the previous one. The 'ロール' section now includes 'allow\_all' at the top, which is highlighted with a red box. The 'Selected Role's Access Rules' section still shows 'Allow any to all destinations'. At the bottom right, there are 'キャンセル' and '設定の保存' buttons.



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑭ デフォルトロールの割り当て

“グローバル”レベルの階層から“セキュリティ”→“認証およびポリシー”を選択、“設定”  をクリックして、“クライアントアクセスポリシー”の“編集”をクリック



The screenshot displays the HPE Aruba Networking Central web interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: グローバル (highlighted with a red box), 概要, デバイス, クライアント, ゲスト, アプリケーション, セキュリティ (highlighted with a red box), ネットワークサービス, アラートおよびイベント, 監査トレイル, ツール, レポート, アプリカタログ, ファームウェア, and 組織. The main content area shows the '認証およびポリシー' (Authentication and Policies) section, with sub-sections for 'ゲートウェイ IDS/IPS' and 'ファイアウォール'. Under 'ポリシー' (Policies), there are two entries: 'ユーザーアクセスポリシー' (User Access Policy) and 'クライアントアクセスポリシー' (Client Access Policy). The 'クライアントアクセスポリシー' entry has a red box around its '編集' (Edit) button. The top navigation bar includes 'RAPIDS', '認証およびポリシー', 'ゲートウェイ IDS/IPS', and 'ファイアウォール', along with utility icons for '設定' (Settings), 'リスト', and '保存' (Save).

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑮ クライアントプロファイルタグ“未特定”(デフォルトロール)に対し、クライアントロールを設定する

顧客: Aruba Japa... RAPIDS 認証およびポリシー ゲートウェイ IDS/IPS ファイアウォール

グローバル

管理

概要

デバイス

クライアント

ゲスト

アプリケーション

セキュリティ

ネットワークサービス

分析

アラートおよびイベント

監査トレイル

ツール

レポート

起動

アプリケーションカタログ

保守

ファームウェア

組織

MAC 認証  
ネットワーク上のクライアントを MAC アドレスに基づいて管理、認証します。

すべてのMACアドレスを許可

クライアントプロファイルタグとクライアントロールのマッピング (1)  
クライアントプロファイルタグをクライアントロールに関連付け、優先順位の高いものから順番に並べます。

クライアントプロファイルタグ	クライアントロール
未特定 ▲	Select an option ▼

Wi-Fi Easy Connect™ サービス  
Wi-Fi Easy Connect™ は、Wi-Fi® ネットワークに機器を接続する際の複雑さを軽減し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

WLAN で使用  
Select an option ▼

Aruba UXI センサー  
無効

キャンセル 保存

#### ⑯ ロール“allow\_all”を割り当てる

顧客: Aruba Japa... RAPIDS 認証およびポリシー ゲートウェイ IDS/IPS ファイアウォール

グローバル

管理

概要

デバイス

クライアント

ゲスト

アプリケーション

セキュリティ

ネットワークサービス

分析

アラートおよびイベント

監査トレイル

ツール

レポート

起動

アプリケーションカタログ

保守

ファームウェア

組織

MAC 認証  
ネットワーク上のクライアントを MAC アドレスに基づいて管理、認証します。

すべてのMACアドレスを許可

クライアントプロファイルタグとクライアントロールのマッピング (1)  
クライアントプロファイルタグをクライアントロールに関連付け、優先順位の高いものから順番に並べます。

クライアントプロファイルタグ	クライアントロール
未特定	allow_all ▼

Wi-Fi Easy Connect™ サービス  
Wi-Fi Easy Connect™ は、Wi-Fi® ネットワークに機器を接続する際の複雑さを軽減し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

WLAN で使用  
None ▼

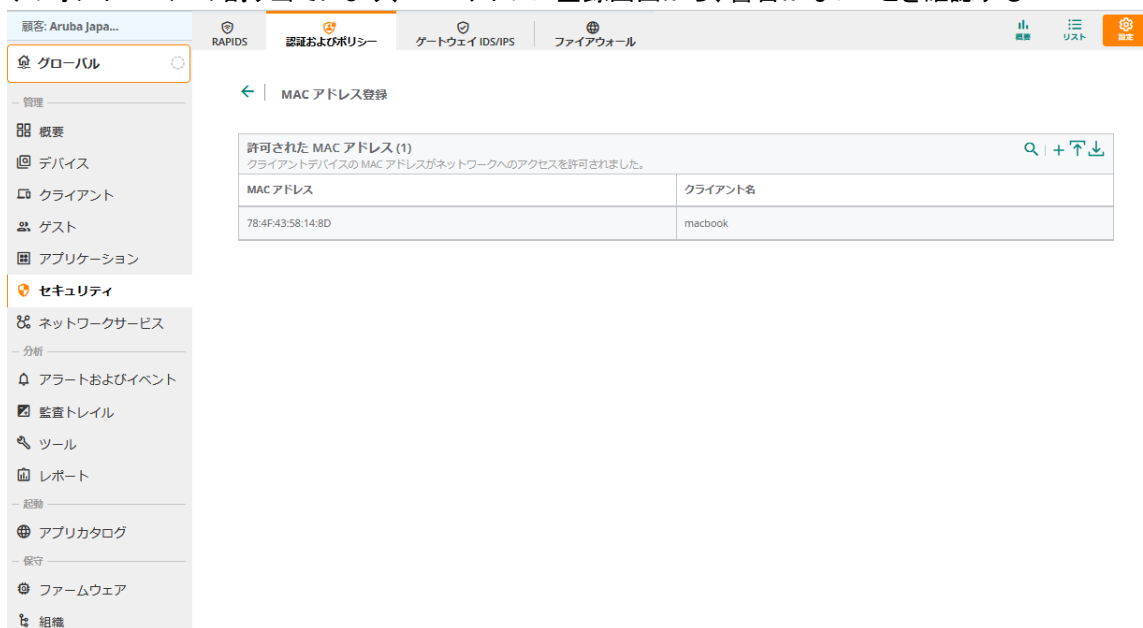
Aruba UXI センサー  
無効

キャンセル 保存

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑪ デフォルトロールの割り当てにより、MAC アドレス登録画面から、警告がないことを確認する




The screenshot shows the Aruba Networking Central interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like Management, Overview, Devices, Clients, Guests, Applications, Security, Network Services, Analysis, Alerts, Monitoring, Tools, Reports, Applications, Protection, and Organization. The main content area is titled "MAC アドレス登録" (MAC Address Registration) and displays a table of permitted MAC addresses. The table has two columns: "MAC アドレス" (MAC Address) and "クライアント名" (Client Name). One entry is shown with the MAC address "78:4F:43:58:14:8D" and the client name "macbook".

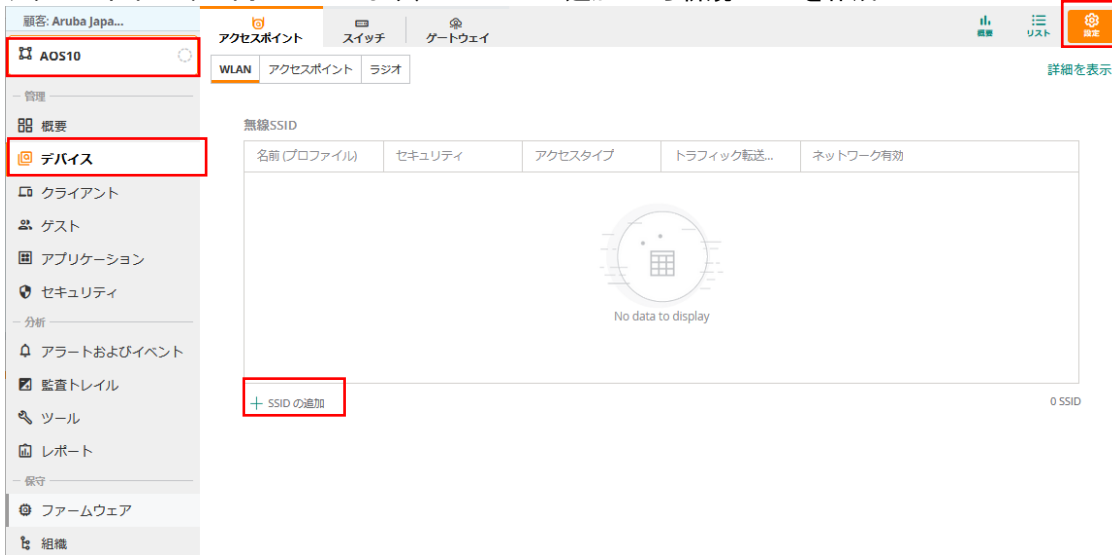
MAC アドレス	クライアント名
78:4F:43:58:14:8D	macbook

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### 7.2.4. 設定例) 802.1x Cloud Auth 利用

- ① フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択
- ② 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- ③ アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成



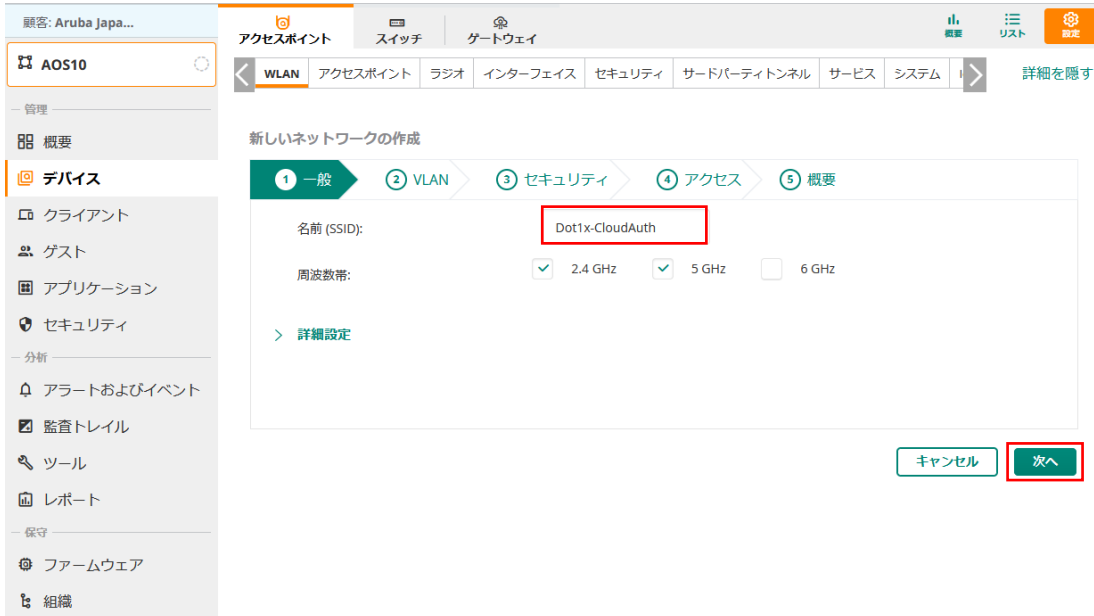
無線SSID

名前 (プロファイル)	セキュリティ	アクセスタイプ	トラフィック転送...	ネットワーク有効
No data to display				

+ SSID の追加

0 SSID

- ④ 任意の SSID を設定します。本設定では“Dot1x-CloudAuth”という SSID とし、“次へ”をクリック



新しいネットワークの作成

- 1 一般
- 2 VLAN
- 3 セキュリティ
- 4 アクセスタイプ
- 5 概要

名前 (SSID): Dot1x-CloudAuth

周波数帯:  2.4 GHz  5 GHz  6 GHz

> 詳細設定

キャンセル **次へ**

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑤ SSID と VLAN との紐付けを行う

本設定では、トラフィック転送モードを“ブリッジ”で設定を行う。クライアント VLAN の割り当ては、環境に合わせた設定を行い、“次へ”をクリック

The screenshot shows the configuration page for a new network. The 'VLAN' step is active. The 'Traffic Forwarding Mode' is set to 'Bridge'. The 'Client VLAN Assignment' is set to 'Static', and the 'VLAN ID' is set to '1'. The 'Next' button is highlighted.

#### ⑥ セキュリティレベルにおいて、“エンタープライズ”を選択 プライマリサーバー項目で“Cloud Auth”を選択

The screenshot shows the configuration page for a new network. The 'Security' step is active. The 'Security Level' is set to 'Enterprise'. The 'Key Management' is set to 'WPA3 Enterprise (CCM 128)'. The 'Primary Server' is set to 'Cloud Auth'. The 'Next' button is highlighted.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

- ⑦ 本設定では、アクセスルール制限をしないため、“制限なし”を選択し、“次へ”をクリックすると、

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

アクセスルール


ロールベース ネットワークベース 制限なし

△制限なし オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。

キャンセル 戻る 次へ

概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

- ⑧ ロールの作成

フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択、左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック。“セキュリティ”タブを開き、“ルール”から+ボタンでルールを作成。ルール設定により、アクセスルールの設定が可能となる。

顧客: Aruba Japa...

AOS10

アクセスポイント スイッチ ゲートウェイ

WLAN アクセスポイント ラジオ インターフェイス セキュリティ サードパーティトンネル サービス システム IoT 設定監査

詳細を隠す

セキュリティ

- > 認証サーバー
- > サーバグループ
- > MPSK ローカル
- > **ルール**

ルール +

選択したロールのアクセスルール

- Allow any to all destinations

WPA3-PSK+MAC認証

default\_wired\_port\_profile

wired-SetMeUp

- > エイリアス
- > USB ポートポリシー
- > 拒否リストに登録
- > ファイアウォール設定
- > 無線 IDS/IPS
- > ブロックするページ URL のカスタマイズ

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

- ⑨ ロール名として“allow\_all”を設定(本設定では、アクセス先を制限しないロールを設定する)

ロールの追加 ×

ロール:

- ⑩ 作成したロールが反映されたことを確認(本設定では、アクセス先を制限しないロールを設定する)

顧客: Aruba Japa... | AOS10 | セキュリティ | サードパーティドメイン | サービス | システム | IoT | 設定監査


管理 | 概要 | **デバイス** | クライアント | ゲスト | アプリケーション | セキュリティ | アラートおよびイベント | 監査トレイル | ツール | レポート | 保守 | ファームウェア | 組織

セキュリティ

- 認証サーバー
- サーバーグループ
- MPSK ローカル
- ロール

ロール	+	選択したロールのアクセスルール	+
allow_all		● Allow any to all destinations	
WPA3-PSK+MAC認証			
default_wired_port_profile			

- ⑪ Cloud Auth 認証ソース指定

“グローバル”レベルの階層から“セキュリティ”→“認証およびポリシー”を選択、“設定”  をクリックして、“ユーザーアクセスポリシー”を選択して編集ボタンをクリックする

顧客: Aruba Japa... | RAPIDS | **認証およびポリシー** | ゲートウェイIDS/IPS | ファイアウォール

**グローバル** | ネットワークサービス

管理 | 概要 | デバイス | クライアント | ゲスト | アプリケーション | **セキュリティ** | ネットワークサービス | アラートおよびイベント | 監査トレイル | ツール | レポート | アプリカタログ | 保守 | ファームウェア | 組織

ポリシー

- ユーザーアクセスポリシー
- クライアントアクセスポリシー

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑫ ID プロバイダの設定

ID プロバイダを Microsoft Entra ID に指定 (Entra ID 側の設定は本稿では割愛させていただきます) し、テナント ID・クライアント ID・クライアント秘密キーを入力し、“接続”をクリックすると、正常に接続されている場合“接続済み”と表示されます

ユーザー認証  
組織の ID ストアを使用してクライアントを認証し、ネットワークへのアクセスを制御します。

ユーザー情報はどこに保存されていますか?

ID プロバイダ  
Microsoft Entra ID Microsoft Entra ID向けクイックスタートガイド

テナント ID  
a345e23c-19f2-48a4-b085-8888aae2a920

クライアント ID  
aa4235fd-581e-4d14-98a9-c8a1ecd1c66b

クライアント秘密キー  
..... 表示

リダイレクト URI のコピー

接続

キャンセル

保存

#### ⑬ 認証サーバ (Cloud Auth) によるロール割り当て

Entra ID 上のユーザグループに所属するメンバに対して、Central で設定したロールを割り当てる設定を行います。

ユーザーグループ	クライアントタグ	クライアントロール
不特定	任意	拒否

ここでは、Entra ID 上のユーザグループ“test”に所属するメンバに対して、Central で設定した“allow\_all”ロールを割り当てる設定を行います。

ユーザーグループ	クライアントタグ	クライアントロール
test	任意	allow_all
不特定	任意	拒否

#### ⑭ ネットワークプロファイル設定

クライアントへ配置する証明書関連の設定を行います。“組織名”は、アプリケーション“Aruba Onboard”(後述)に表示されるネットワークプロファイル名として表示される名前、“非 PassPoint クライアント用の WLAN”は、802.1x 認証を行う SSID をプルダウンより設定します。

##### ネットワークプロファイル

コンピューターやスマートデバイスにネットワークプロファイルをインストールして、ネットワークへの接続を容易にすることができます。Aruba Onboard アプリケーションを使用して、プロファイルを自動的にインストールし、ダウンロード可能なリンクをユーザーと共有します。

組織名  
Aruba Japan SE Lab

非 Passpoint クライアント用の WLAN  
Dot1x-CloudAuth

Aruba Onboard モバイルアプリプレビュー  
Aruba Japan SE Lab  
有効期限: 04/22/2025

キャンセル

保存


設定完了後、保存をクリック。



## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑮ オンボーディング URL をコピーする

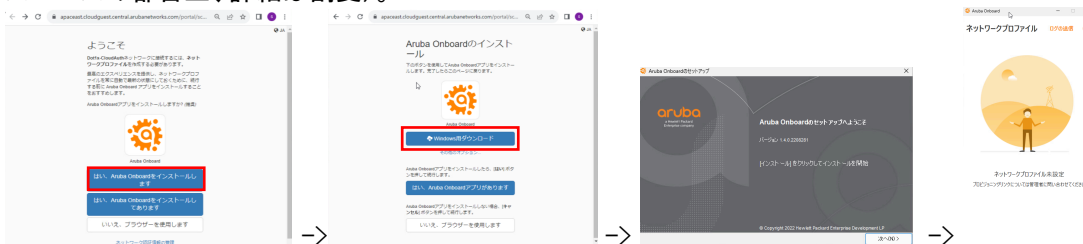
“グローバル”レベルの階層から“セキュリティ”→“認証およびポリシー”を選択し、“設定”  をクリックして、“ユーザーアクセスポリシー”を開き、“URL のコピー”(オンボーディング URL)をクリックする



The screenshot shows the Aruba Central configuration interface. In the left sidebar, 'グローバル' (Global) is selected. The main content area shows the 'ポリシー' (Policy) configuration for 'ユーザーアクセスポリシー' (User Access Policy). The 'URL のコピー' (Copy URL) button is highlighted with a red box.

#### ⑯ クライアントへの証明書(ネットワークプロファイル)配置①

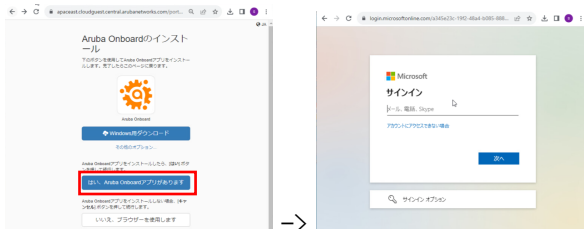
本設定では、アプリケーション“Aruba Onboard”を利用し、クライアントへ証明書(ネットワークプロファイル)を配置する。証明書を配置する。クライアント側で、オンボーディング URL へアクセスし、「はい、Aruba Onboard をインストールします」をクリックし、アプリケーションをインストール・起動し、インストール完了を確認する(クライアントは Windows を利用、スペースの都合上、詳細は割愛)。



The sequence of screenshots illustrates the client-side installation of Aruba Onboard. The first screenshot shows the 'ようこそ' (Welcome) screen. The second screenshot shows the 'Aruba Onboardのインストール' (Install Aruba Onboard) screen with the 'はい、Aruba Onboardをインストールします' (Yes, I want to install Aruba Onboard) button highlighted. The third screenshot shows the 'Aruba Onboardのインストール' (Install Aruba Onboard) screen with the 'はい、Aruba Onboardをインストールします' (Yes, I want to install Aruba Onboard) button highlighted. The fourth screenshot shows the 'Aruba Onboardのインストール' (Install Aruba Onboard) screen with the 'はい、Aruba Onboardをインストールします' (Yes, I want to install Aruba Onboard) button highlighted.

#### ⑰ クライアントへの証明書(ネットワークプロファイル)配置②

アプリを起動し、インストール完了を確認後、ブラウザに戻り、「はい、Aruba Onboard アプリがあります」をクリックすると、Microsoft へリダイレクトされるので、Central でロールを割り当てた、Entra ID のグループに所属するメンバ ID でサインインする。



The sequence of screenshots illustrates the sign-in process. The first screenshot shows the 'Aruba Onboardのインストール' (Install Aruba Onboard) screen with the 'はい、Aruba Onboardをインストールします' (Yes, I want to install Aruba Onboard) button highlighted. The second screenshot shows the Microsoft sign-in screen with the 'はい、Aruba Onboard アプリがあります' (Yes, I have Aruba Onboard) button highlighted.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)


- ⑱ クライアントへの証明書(ネットワークプロファイル)配置③、および接続  
サインインしたら、「Aruba Onboard アプリを使用してインストール」をクリックし、アプリケーション「Aruba Onboard」上で「ネットワークプロファイルをセットアップ」をクリックし、ネットワークプロファイルが配置されたことを確認する。

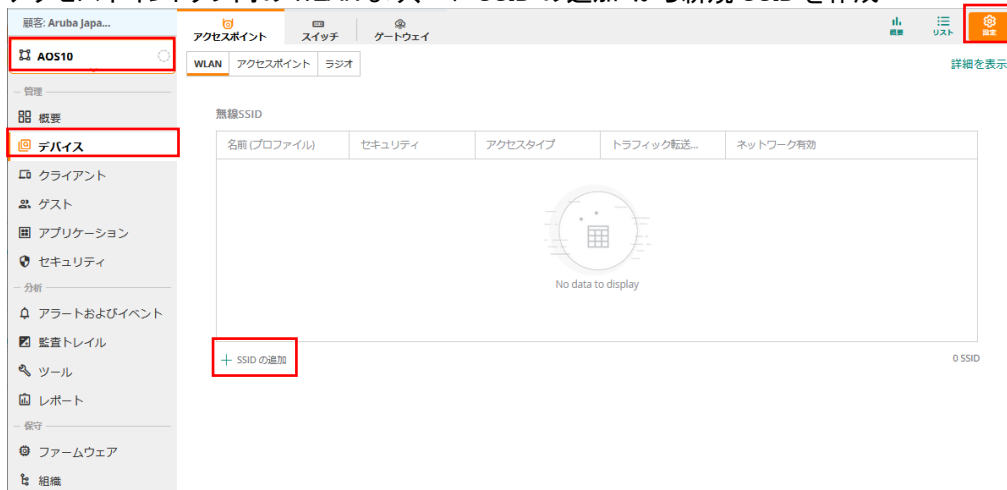


## Technical Note

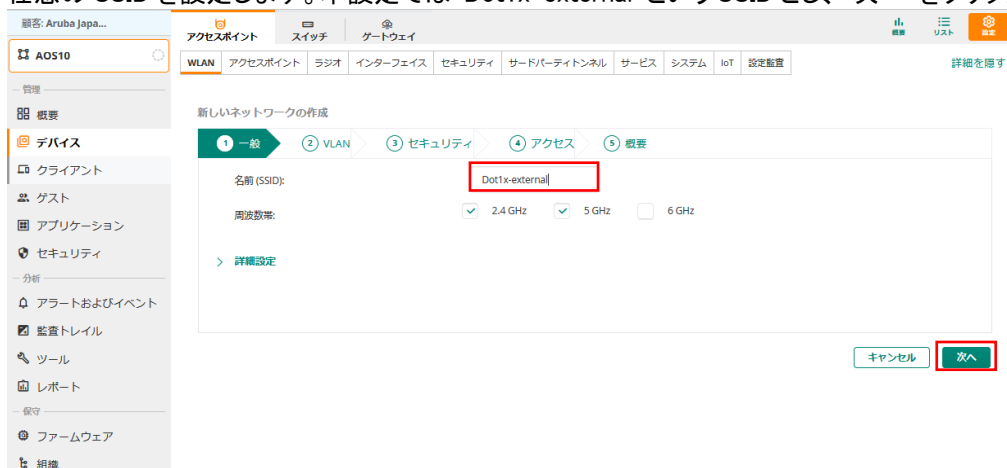
### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 7.2.5. 設定例)802.1x External Radius 利用

- ① フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択
- ② 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- ③ アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成



- ④ 任意の SSID を設定します。本設定では“Dot1x-external”という SSID とし、“次へ”をクリック



- ⑤ SSID と VLAN との紐付けを行う  
本設定では、トラフィック転送モードを“ブリッジ”で設定を行う。クライアント VLAN の割り当ては、環境に合わせた設定を行い、“次へ”をクリック



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

- ⑥ セキュリティレベルにおいて、“エンタープライズ”を選択  
プライマリサーバー項目で“+”から RADIUS サーバーを登録する

The screenshot shows the '新しいネットワークの作成' (Create New Network) wizard in the 'セキュリティ' (Security) step. The 'セキュリティレベル' (Security Level) is set to 'エンタープライズ' (Enterprise). The 'プライマリサーバー' (Primary Server) dropdown menu is open, showing a '+' icon for adding a new RADIUS server. The 'キー管理' (Key Management) is set to 'WPA3 エンタープライズ (CCM 128)', and the 'サーバーグループ' (Server Group) is set to 'Primary and backup only'. The '詳細設定' (Advanced Settings) link is visible at the bottom left of the main content area.

- ⑦ Radius サーバー名、IP アドレス、共有キー(シークレットキー)を入力し”OK”をクリック

The '新しいサーバー' (New Server) dialog box is shown. The 'サーバータイプ' (Server Type) is set to 'RADIUS'. The '名前' (Name) is 'cppm1', the 'IP アドレス/FQDN' (IP Address/FQDN) is '192.168.21.11', and the '共有キー' (Shared Key) is masked with dots. The 'キーの再入力' (Re-enter Key) field is also masked. The '動的認証' (Dynamic Authentication) checkbox is checked. The 'OK' button is highlighted.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑧ 必要に応じ、セカンダリサーバーを設定し、“次へ”をクリック

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
セキュリティレベル: エンタープライズ パーソナル ビジター オープン  
キー管理: WPA3 エンタープライズ (CCM 128)  
サーバーグループ: Primary and backup only  
プライマリサーバー: cppm1  
セカンダリサーバー: -- 選択 --  
キャンセル 戻る 次へ

#### 本設定では、アクセスルール制限をしないため、“制限なし”を選択し、“次へ”をクリック

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
アクセスルール: ローベース ネットワークベース 制限なし  
△「制限なし」オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。  
キャンセル 戻る 次へ


概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

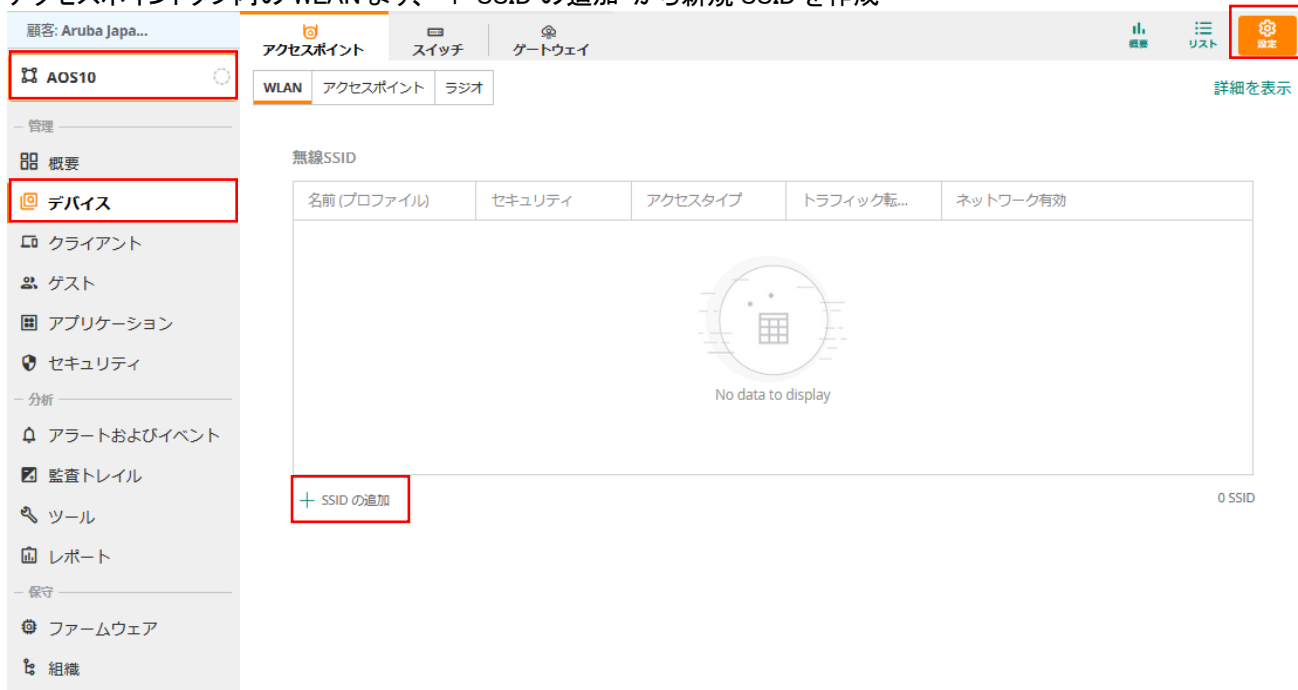


## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

### 7.2.6. 設定例) Dynamic VLAN (External Radius 利用)

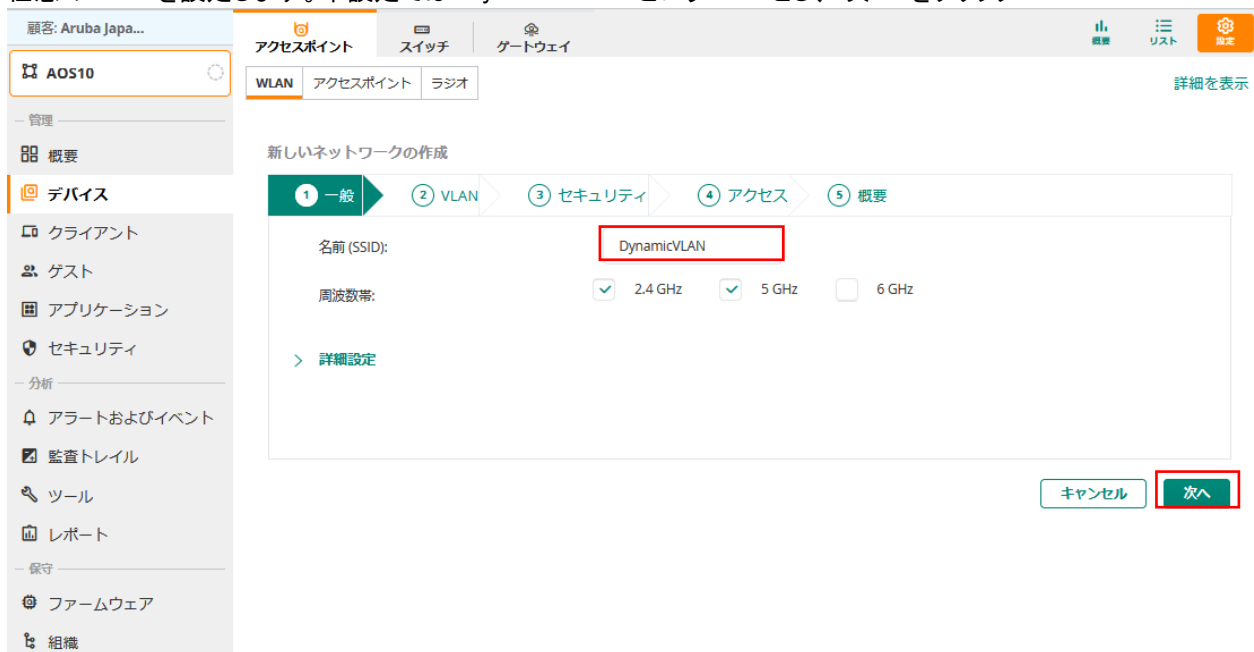
- ① フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択
- ② 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- ③ アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成



顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
管理  
概要  
デバイス  
クライアント  
ゲスト  
アプリケーション  
セキュリティ  
分析  
アラートおよびイベント  
監査トレイル  
ツール  
レポート  
保守  
ファームウェア  
組織

アクセスポイント スイッチ ゲートウェイ  
WLAN アクセスポイント ラジオ  
無線SSID  
名前(プロファイル) セキュリティ アクセスタイプ トラフィック転... ネットワーク有効  
No data to display  
+ SSID の追加 0 SSID

- ④ 任意の SSID を設定します。本設定では“DynamicVLAN”という SSID とし、“次へ”をクリック



顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
管理  
概要  
デバイス  
クライアント  
ゲスト  
アプリケーション  
セキュリティ  
分析  
アラートおよびイベント  
監査トレイル  
ツール  
レポート  
保守  
ファームウェア  
組織

アクセスポイント スイッチ ゲートウェイ  
WLAN アクセスポイント ラジオ  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
名前 (SSID): DynamicVLAN  
周波数帯:  2.4 GHz  5 GHz  6 GHz  
> 詳細設定  
キャンセル 次へ

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑤ SSID と VLAN との紐付けを行う

Dynamic VLAN となるため、SSID との紐付けは行わず、Radius サーバからの情報で VLAN をアサインできるようにすべく、一般的に利用される "Tunnel Private Group Id" を利用して VLAN を振り分けられるようにする

本設定ではトラフィック転送モードを "ブリッジ"、クライアント VLAN の割り当てにおいて、"ダイナミック" を選択  
VLAN の割り当てルール欄の "+ ルールの追加" ボタンをクリック

割り当てルールにおいて "属性" = "Tunnel-Private-Group-Id", "オペレータ" = "VLAN" を設定する

顧客: Aruba Japa...  
アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ  
AOS10  
WLAN | アクセスポイント | ラジオ  
詳細を表示

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

トラフィック転送モード:  ブリッジ  トンネル  混合

クライアント VLAN の割り当て:  スタティック  ダイナミック

VLAN の割り当てルール

デフォルト VLAN: 1

+ ルールの追加 1ルール

> 名前付き VLAN を表示

キャンセル 戻る 次へ

VLAN の割り当てルールの編集

属性: Tunnel-Private-Group-I  
オペレータ: VLAN

キャンセル OK

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

- ⑥ セキュリティレベルにおいて、“エンタープライズ”を選択  
プライマリサーバー項目で“+”から RADIUS サーバーを登録する

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
セキュリティレベル:  エンタープライズ  パーソナル  ビジター  オープン  
キー管理: WPA3 エンタープライズ (CCM 128)  
サーバーグループ: Primary and backup only  
プライマリサーバー: -- 選択 -- + このフィールドは必須です。  
詳細設定  
キャンセル 戻る 次へ

- ⑦ Radius サーバー名、IP アドレス、共有キー(シークレットキー)を入力し”OK”をクリック

新しいサーバー  
サーバータイプ: RADIUS  
RadSec:   
共有キー: .....  
キーの再入力: .....  
再試行回数: 3  
タイムアウト(秒): 5  
RADIUS サーバーのステータスの照会 (RFC 5997):  認証  アカウンティング  
名前: cppm1  
IP アドレス/FQDN: 192.168.21.11  
NAS IP アドレス: オプション  
NAS ID: オプション  
認証ポート: 1812  
アカウンティングポート: 1813  
動的認証:   
キャンセル OK



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑧ 必要に応じ、セカンダリサーバーを設定し、次へをクリック

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
WLAN アクセスポイント ラジオ  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
セキュリティレベル: エンタープライズ パーソナル ビジター オープン  
キー管理: WPA3 エンタープライズ (CCM 128)  
サーバーグループ: Primary and backup only  
プライマリサーバー: cppm1  
セカンダリサーバー: -- 選択 --  
キャンセル 戻る 次へ

#### ⑨ 本設定では、アクセスルール制限をしないため、“制限なし”を選択し、“次へ”をクリック

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
WLAN アクセスポイント ラジオ  
新しいネットワークの作成  
1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要  
アクセスルール: ロールベース ネットワークベース 制限なし  
[制限なし] オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。  
キャンセル 戻る 次へ

概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 7.2.7. 設定例)クラウドゲスト

- ① フィルターアイコンよりスプラッシュページを作成するグループを選択し、左メニューより“ゲスト”を選択

The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 管理 (Management), 概要 (Overview), デバイス (Devices), クライアント (Clients), **ゲスト (Guests)**, アプリケーション (Applications), セキュリティ (Security), 分析 (Analysis), アラートおよびイベント (Alerts and Events), 監査トレイル (Audit Trail), ツール (Tools), レポート (Reports), 保守 (Maintenance), ファームウェア (Firmware), and 組織 (Organization). The 'ゲスト' item is highlighted with a red box. The main content area shows the 'Guest Access > Splash Pages' configuration page. A table titled 'スプラッシュページ (1)' (Splash Pages (1)) contains one entry: 'default' with type '匿名' (Anonymous) and status '共有' (Shared). A red box highlights the 'AOS10' filter icon in the top left of the main content area.

- ② 右上の“+”ボタンから新規スプラッシュページを作成

The screenshot shows the same HPE Aruba Networking Central interface as in the previous step. The left sidebar is the same, but the 'ゲスト' item is not highlighted. The main content area shows the 'Guest Access > Splash Pages' configuration page. A red box highlights the '+' button in the top right corner of the main content area, indicating where to click to create a new splash page.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ③ スプラッシュページ名を指定

本設定では“CaptivePortal”とし、タイプを“認証済み”に設定

ユーザー名/パスワードを有効にし、“Aruba Central 認証およびポリシーの使用”を有効にする

ゲストアクセス

スプラッシュページ ビジター

新しいスプラッシュページ

1 設定 2 カスタマイズ 3 ローカライゼーション

名前: CaptivePortal

タイプ:  匿名  認証済み

ユーザー名/パスワード:

Aruba Central 認証およびポリシーの使用:

失敗した場合にインターネットを許可:

コモンネームを上書き:

認証に成功した場合の動作:  元の URL に戻る  リダイレクト URL

認証失敗のメッセージ

このプロファイルを共有:

許可リスト URL:  + URL をさらに追加

キャンセル 次へ

#### ④ 必要に応じてページのデザインや使用条件等をカスタマイズする

顧客: Aruba Japa...

ゲストアクセス

スプラッシュページ ビジター

新しいスプラッシュページ

1 設定 2 カスタマイズ 3 ローカライゼーション

レイアウト: 模範、コンピュータ向け

背景色: #ffffff

ボタンの色: #0096d5

ヘッダーの塗りつぶし色: #0096d5

ページのフォントの色: #bbbbbb

ロゴ: 参照...

配置: Left

背景イメージ: 参照...

使用条件の設定

広告の設定

キャンセル 戻る 次へ

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

必要に応じて各セクションをカスタマイズし、プレビューボタンから最終確認をし、終了をクリック

新しいスプラッシュページ

1 設定 2 カスタマイズ 3 ローカリゼーション

ゲストポータルラベルとテキストをローカライズ (適用) するためのオプションフィールド

**ログインセクション**

ログインボタンのタイトル:

ネットワークログインのタイトル:

ログインページのタイトル:

アクセス拒否ページのタイトル:

ログイン後のタイトル:

ユーザー名ラベル:

ユーザー名プレースホルダ:

パスワードプレースホルダ:

電子メールアドレスプレースホルダ:

登録ボタンのタイトル:

ネットワークログインボタンのタイトル:

使用条件のタイトル:

「使用条件に同意します」のテキスト:

初期画面のテキスト:

ログイン失敗メッセージ:

ログイン後のメッセージ:

**登録セクション**

電話のラベル:  電話フィールドに表示するカスタムメッセージ

電話番号プレースホルダ:  電話番号入力コントロール用のカスタムプレースホルダ  
テキスト

[戻る] ボタンのテキスト:

[続行] ボタンのテキスト:

電子メールラジオボタン:  電話フィールドのカスタムラベル

登録ページのタイトル:

[同意する] ボタンのタイトル:

登録ページの指示:  登録ページに表示するカスタムメッセージ

**確認セクション**

確認コードのラベル:

確認コードのプレースホルダ:

確認メールの確認メッセージ:

確認メールの通知メッセージ:

確認メールの送信済みメッセージ:

確認電話の通知メッセージ:

確認済みアカウントのメッセージ:

アカウントの確認メッセージ:

確認ボタンのタイトル:

タイトルの確認:

ネットワークログインメッセージ:

キャンセル 戻る **プレビュー** 完了

プレビュー画面)

サインイン

ユーザー名  
パスワード

**サインイン**

**登録 >**

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑤ スプラッシュページが作成されたことを確認

The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface. The left sidebar contains a navigation menu with items like '概要', 'デバイス', 'クライアント', 'ゲスト', 'アプリケーション', 'セキュリティ', 'アラートおよびイベント', '監査トレイル', 'ツール', 'レポート', 'ファームウェア', and '組織'. The main content area is titled 'ゲストアクセス > スプラッシュページ'. Below the title, there is a table with the heading 'スプラッシュページ (2)'. The table has three columns: '名前', 'タイプ', and '状態'. The rows are 'default' (匿名, 共有) and 'CaptivePortal' (ユーザー名/パスワード, 共有). At the bottom of the table, there are pagination controls showing '1 5 10 25 50' and '1 ページあたり'.

#### ⑥ フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択

#### ⑦ フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択

#### ⑧ 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定” ボタンをクリック

#### ⑨ アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成

The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface. The left sidebar is the same as in the previous screenshot. The main content area is titled 'アクセスポイント > WLAN'. Below the title, there is a table with the heading '無線SSID'. The table has five columns: '名前 (プロファイル)', 'セキュリティ', 'アクセスタイプ', 'トラフィック転...', and 'ネットワーク有効'. The table is currently empty, and there is a large circular icon with a grid and the text 'No data to display' in the center. At the bottom left of the table, there is a button labeled '+ SSID の追加'. At the bottom right, it says '0 SSID'. In the top right corner, there is a '設定' (Settings) button with a gear icon.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑩ 任意の SSID を設定します。本設定では“Cloudguest”という SSID とし、“次へ”をクリック

The screenshot shows the '新しいネットワークの作成' (New Network Creation) wizard in the '一般' (General) step. The SSID is set to 'Cloudguest'. The radio frequency options are checked for 2.4 GHz and 5 GHz. The '次へ' (Next) button is highlighted with a red box.

#### ⑪ SSID と VLAN との紐付けを行う

本設定では、トラフィック転送モードを“ブリッジ”で設定を行う。クライアント VLAN の割り当ては、環境に合わせた設定を行い、“次へ”をクリック

The screenshot shows the '新しいネットワークの作成' (New Network Creation) wizard in the 'VLAN' step. The traffic transfer mode is set to 'ブリッジ' (Bridge). The client VLAN assignment is set to 'スタティック' (Static) with a VLAN ID of '1'. The '次へ' (Next) button is highlighted with a red box.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

- ⑫ セキュリティーレベルにおいて、“ビジター”を選択  
タイプにおいて“クラウドゲスト”、ゲストキャプティブポータルのプロファイルにおいて先ほど作成した“CaptivePortal”を選択

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
WLAN アクセスポイント ラジオ インターフェイス セキュリティ サードパーティトンネル サービス システム IoT 設定監査

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

セキュリティレベル: エンタープライズ パーソナル **ビジター** オープン

ネットワークにアクセス

タイプ: クラウドゲスト  
ゲストキャプティブポータルのプロファイル: CaptivePortal

暗号化:

キー管理: エンハストオープン

> 詳細設定

キャンセル 戻る **次へ**

- ⑬ 本設定では、アクセスルール制限をしないため、“制限なし”を選択し、“次へ”をクリック

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
WLAN アクセスポイント ラジオ インターフェイス セキュリティ サードパーティトンネル サービス システム IoT 設定監査

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

アクセスルール: ロールベース ネットワークベース **制限なし**

△[制限なし] オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。


キャンセル 戻る **次へ**

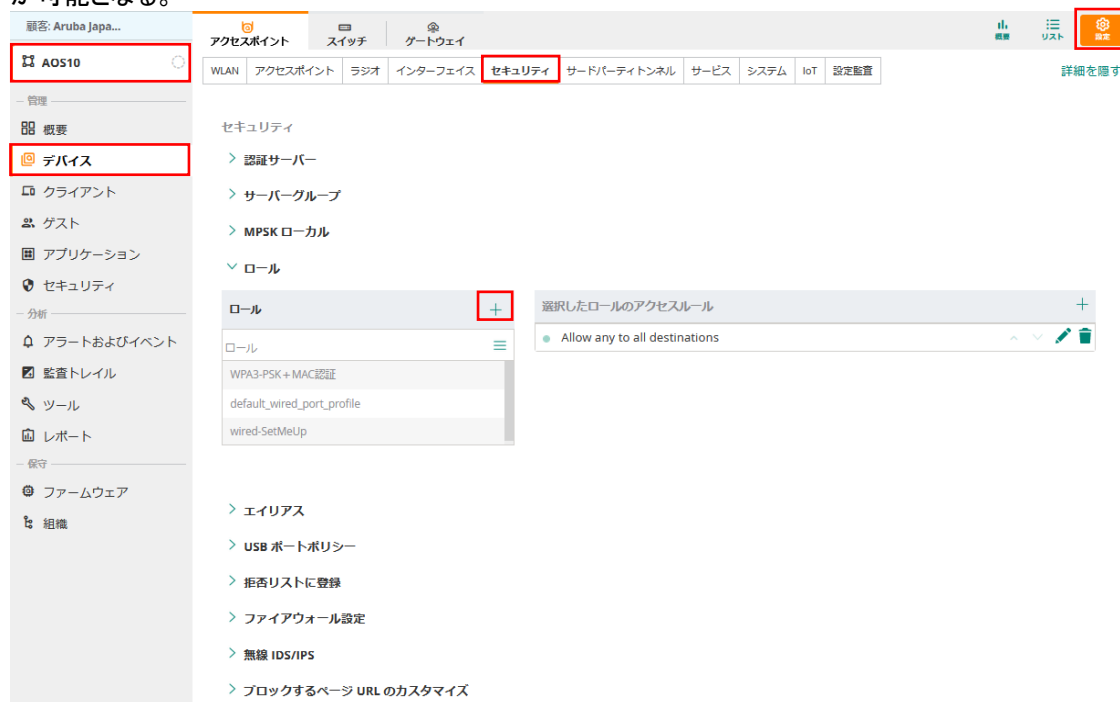
概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑱ ロールの作成

フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択、左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック。“セキュリティ”タブを開き、“ルール”から+ボタンでルールを作成。ルール設定により、アクセスルールの設定が可能となる。



#### ⑳ ロール名として“allow\_all”を設定 (本設定では、アクセス先を制限しないルールを設定する)

ロールの追加 ×

ロール:

キャンセル

OK




## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 21 作成したロールが反映されたことを確認(本設定では、アクセス先を制限しないロールを設定する)

The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface. The left sidebar contains navigation options like '概要', 'デバイス', 'クライアント', 'ゲスト', 'アプリケーション', 'セキュリティ', 'アラートおよびイベント', '監視トレイル', 'ツール', 'レポート', 'ファームウェア', and '組織'. The main content area is titled 'セキュリティ' and includes sub-sections like '認識サーバー', 'サーバーグループ', 'MPSK ローカル', 'ロール', 'エイリアス', 'USB ポートポリシー', '拒否リストに登録', 'ファイアウォール設定', and '無線 IDS/IPS'. Under the 'ロール' section, a list of roles is shown, with 'allow\_all' highlighted by a red box. To the right, a dropdown menu shows the selected role: 'Allow any to all destinations'. At the bottom right, there are buttons for 'キャンセル' and '設定の保存'.

#### 22 Cloud Auth 認証ソース指定

“グローバル”レベルの階層から“セキュリティ”→“認証およびポリシー”を選択、“設定”  をクリックして、“ユーザーアクセスポリシー”を選択して編集ボタンをクリックする

The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface. The left sidebar is the same as in the previous screenshot. The main content area is titled '認証およびポリシー' and includes sub-sections like 'グローバル', 'クライアントアクセスポリシー', and 'ファイアウォール'. Under the 'グローバル' section, there are two policy entries: 'ユーザーアクセスポリシー' and 'クライアントアクセスポリシー'. The 'ユーザーアクセスポリシー' entry is highlighted with a red box, and its '編集' (Edit) button is also highlighted with a red box. The 'クライアントアクセスポリシー' entry is also visible below it.

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 23 ID プロバイダの設定

ID プロバイダを Microsoft Entra ID に指定 (Entra ID 側の設定は本稿では割愛させていただきます) し、テナント ID・クライアント ID・クライアント秘密キーを入力し、“接続”をクリックすると、正常に接続されている場合“接続済み”と表示されます

#### 24 認証サーバ(Cloud Auth)によるロール割り当て

Entra ID 上のユーザグループに所属するメンバに対して、Central で設定したロールを割り当てる設定を行います。

ユーザーグループとクライアントロールのマッピング (1)		
ID ストアのユーザーグループをクライアントロールに関連付け、優先順位の高いものから順番に並べます。		
ユーザーグループ	クライアントタグ	クライアントロール
不特定	任意	拒否

ここでは、Entra ID 上のユーザグループ“test”に所属するメンバに対して、Central で設定した”allow\_all”ロールを割り当てる設定を行います。

ユーザーグループとクライアントロールのマッピング (2)		
ID ストアのユーザーグループをクライアントロールに関連付け、優先順位の高いものから順番に並べます。		
ユーザーグループ	クライアントタグ	クライアントロール
test	任意	allow_all
不特定	任意	拒否

## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

### 7.2.8. 設定例)Central ゲスト(メール認証)

Central のゲスト機能を追加すると、ゲスト wi-fi 作成時に以下のような認証方式が利用できます。

- 同意認証: 利用規約に同意(利用規約は任意に設定が可能)
- メール認証: メールアドレスを登録して認証する
- SNS 認証: SNS アカウントでログイン可能
- Facebook Wi-Fi: Facebook ページでチェックイン
- SMS 認証: 電話番号に ID を通知し、ID を使って認証
- ID 認証: Aruba Central に登録した ID/Pass を入力して認証

また、キャプティブポータルのカスタマイズも柔軟に行えるため、以下のようなページも作成することができます



① フィルターアイコンよりスプラッシュページを作成するグループを選択し、左メニューより“ゲスト”を選択

名前	タイプ	状態
default	匿名	共有

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ② 右上の“+”ボタンから新規スプラッシュページを作成

顧客: Aruba Japa... 3 4日 履歴 リスト 設定

管理

概要

デバイス

クライアント

ゲスト

アプリケーション

セキュリティ

分析

アラートおよびイベント

監査トレイル

ツール

レポート

保守

ファームウェア

組織

ゲストアクセス

スプラッシュページ ビジター

ゲストアクセス > スプラッシュページ

+

スプラッシュページ (1)

名前	タイプ	状態
default	匿名	共有

5 10 25 30 1 ページあたり

<< < > >> ページ: 1/1

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ③ スプラッシュページ名を指定

本設定では“mail-auth”とし、タイプを“認証済み”に設定

ユーザー名/パスワードを有効にし、自己登録を有効にすると、自己登録のタイプが表示されるため、今回は“電子メールアドレス”を有効にする

顧客: Aruba Japa...  
AOS10  
ゲストアクセス  
スプラッシュページ ビジター  
新しいスプラッシュページ  
1 設定 2 カスタマイズ 3 ローカライゼーション

名前: mail-auth  
タイプ: 匿名 認証済み  
ユーザー名/パスワード:   
Aruba Central 認証およびポリシーの使用:   
自己登録:   
検証が必要:   
電子メールアドレス:   
電話ベース:   
有効期限:  日  時間  分  
 無制限  
ソーシャルログイン:   
失敗した場合にインターネットを許可:   
Cookie名を上書き:   
認証に成功した場合の動作:  元の URL に戻る  リダイレクト URL  
認証失敗のメッセージ:   
セッションのタイムアウト:  日  時間  分  
 MAC キャッシュの有効化  
このプロファイルを共有:   
同時ログイン制限: 無制限  
日次使用制限:  無制限  時間基準  時間  分  データ基準  MB  ユーザーごと  
許可リスト URL:  + URL をさらに追加  
スポンサーされたゲスト:

キャンセル 次へ

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

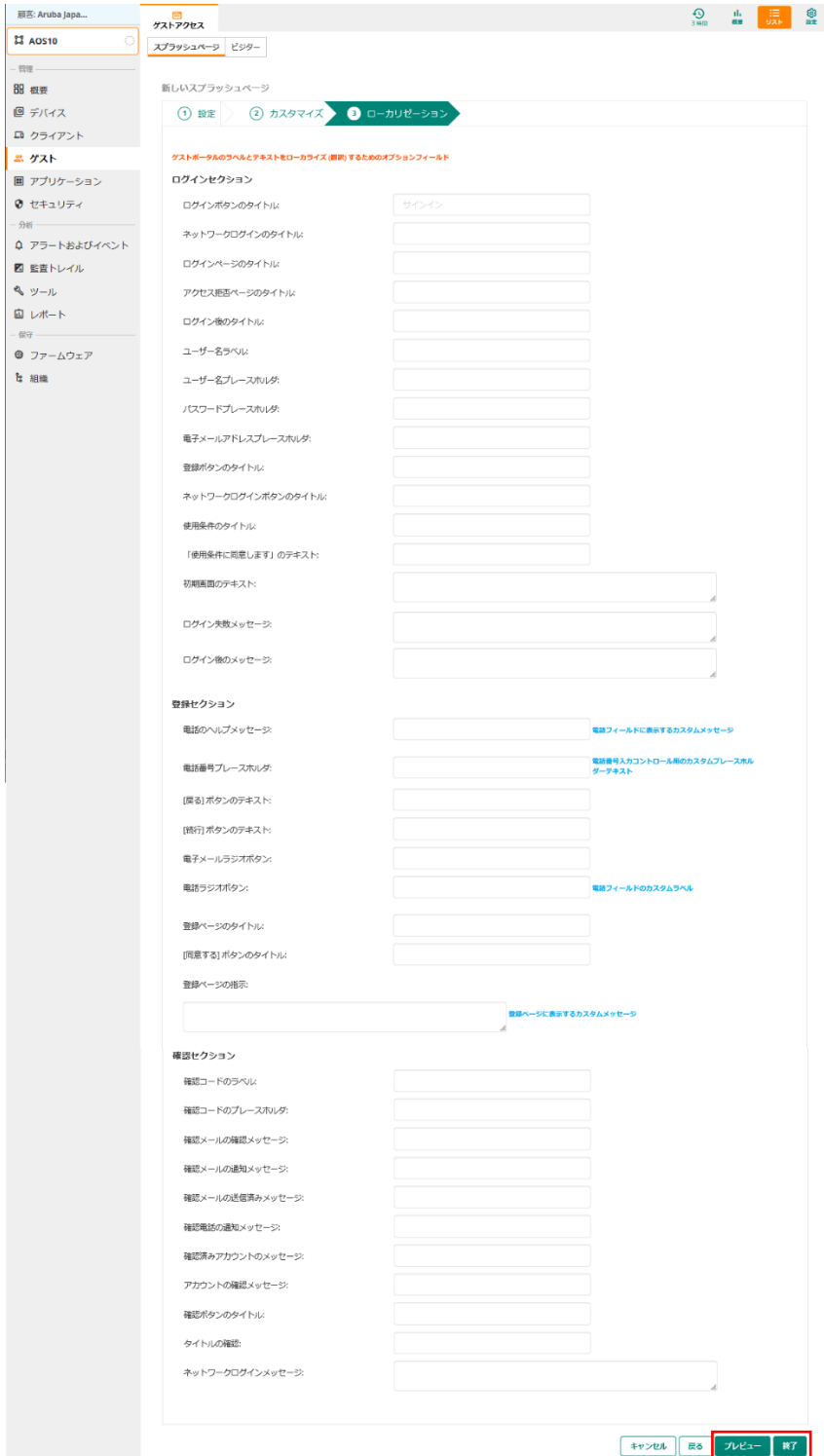
#### ④ 必要に応じてページのデザインや使用条件等をカスタマイズする

The screenshot displays the configuration interface for a new splash page in the AOS10 environment. The interface is divided into a left sidebar and a main content area. The sidebar contains navigation options such as '概要' (Overview), 'デバイス' (Devices), 'クライアント' (Clients), 'ゲスト' (Guest), 'アプリケーション' (Applications), 'セキュリティ' (Security), 'アラートおよびイベント' (Alerts and Events), '監査トレイル' (Audit Trail), 'ツール' (Tools), 'レポート' (Reports), '保守' (Maintenance), 'ファームウェア' (Firmware), and '組織' (Organization). The main content area is titled '新しいスプラッシュページ' (New Splash Page) and shows a progress bar with three steps: ① 設定 (Settings), ② カスタマイズ (Customize), and ③ ローカリゼーション (Localization). The 'Customize' step is currently active. Below the progress bar, there are several configuration options: 'レイアウト' (Layout) set to '横型、コンピュータ向け' (Landscape, Computer-oriented); '背景色' (Background Color) set to '#ffffff'; 'ボタンの色' (Button Color) set to '#0096d6'; 'ヘッダーの塗りつぶし色' (Header Fill Color) set to an empty field; 'ページのフォントの色' (Page Font Color) set to '#bbbbbb'; 'ロゴ' (Logo) with a '参照...' (Reference...) link; '配置' (Position) set to 'Left'; and '背景イメージ' (Background Image) with a '参照...' (Reference...) link. At the bottom of the configuration area, there are two expandable sections: '使用条件の設定' (Usage Conditions Settings) and '広告の設定' (Advertising Settings). At the bottom right of the interface, there are three buttons: 'キャンセル' (Cancel), '戻る' (Back), and '次へ' (Next), with the '次へ' button highlighted by a red box.

必要に応じてローカリゼーションをカスタマイズし、プレビューボタンから最終確認、終了をクリック

# Technical Note

## HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)



### プレビュー画面)

サインイン

ユーザー名
パスワード
<input type="button" value="サインイン"/>
<input type="button" value="登録 &gt;"/>



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑤ スプラッシュページが作成されたことを確認

ゲストアクセス

スプラッシュページ ビジター

ゲストアクセス > スプラッシュページ

名前	タイプ	状態
default	匿名	共有
mail-auth	ユーザー名/パスワード, 自己登録	共有

5 10 25 50 1ページあたり

#### ⑥ フィルターアイコンより SSID を作成するグループを選択

#### ⑦ 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定” ボタンをクリック

#### ⑧ アクセスポイントタブ内の WLAN より、“+ SSID の追加”から新規 SSID を作成

アクセスポイント

WLAN アクセスポイント ラジオ インターフェイス セキュリティ サードパーティトンネル サービス システム IoT 設定監査

無線SSID

名前 (プロファイル)	セキュリティ	アクセスタイプ	トラフィック転送モ...	ネットワーク有効
No data to display				

+ SSID の追加

#### ⑨ 任意の SSID を設定します。本設定では“mail-auth”という SSID とし、“次へ”をクリック

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

名前 (SSID): mail-auth

周波数帯:  2.4 GHz  5 GHz  6 GHz

> 詳細設定

キャンセル 次へ



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### ⑩ SSID と VLAN との紐付けを行う

本設定では、トラフィック転送モードを“ブリッジ”で設定を行う。クライアント VLAN の割り当ては、環境に合わせた設定を行い、“次へ”をクリック

新しいネットワークの作成

1 一般 2 **VLAN** 3 セキュリティ 4 アクセス 5 概要

トラフィック転送モード:  ブリッジ  トンネル  混合

クライアント VLAN の割り当て:  スタティック  ダイナミック

VLAN ID:

複数の VLAN ID または単一の名前付き VLAN が許可されません。

> 名前付き VLAN を表示

キャンセル 戻る **次へ**

#### ⑪ セキュリティレベルにおいて、“ビジター”を選択

キャプティブポータルタイプにおいて“クラウドゲスト”を選択し、プロファイルに先ほど作成した“mail-auth”を選択

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 **セキュリティ** 4 アクセス 5 概要

セキュリティレベル:  (エンタープライズ パーソナル **ビジター** オープン)

ネットワークにアクセス

タイプ:

ゲストキャプティブポータルのプロファイル:

暗号化:

キー管理:

> 詳細設定

キャンセル 戻る **次へ**

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### ⑫ 本設定では、アクセスルール制限をしないため、「制限なし」を選択し、「次へ」をクリック

新しいネットワークの作成

1 一般 2 VLAN 3 セキュリティ 4 **アクセス** 5 概要

アクセスルール

ロールベース ネットワークベース 制限なし

△制限なし] オプションを選択すると、ネットワークへの完全なアクセスが許可されます。これにより、潜在的なセキュリティの問題が生じる可能性があります。

キャンセル 戻る **次へ**

概要で設定内容が表示されるので、間違いがないことを確認し、終了ボタンをクリック

## 7.3. SSID の隠蔽

SSID を隠蔽して運用したい場合は、WLAN 設定にて”詳細設定”をクリックし、ステルスモードを有効にする

ESSID: mail-auth

周波数帯:  2.4 GHz  5 GHz  6 GHz

▼ 詳細設定

- ブロードキャスト/マルチキャスト
- 送信レート (レガシーのみ)
- ビーコンレート
- 帯域幅制御
- Wi-Fi マルチメディア
- その他

6GHz メッシュで無効化:

無通信のタイムアウト: 1000 秒

**ステルスモード:**

最大クライアント数のしきい値: max

ローカルブロープ要求のしきい値:  自動  手動 0

認証要求の最小 SNR:  Automatic  Manual 0

無通信状態の端末へ deauth を送信:

クライアントが 1 秒以上無応答の場合、接続を切断可能:

キャンセル 設定の保存

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 7.4. ユーザ同士の通信制御 (User Isolation) について

ゲスト用 SSID 等において、ユーザ同士の通信を禁止したい場合は WLAN 設定にて”詳細設定”をクリックし、”VLAN 内トラフィックを拒否”項目を有効にする

顧客: Aruba Japa... | AOS10 | WLAN | アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ | 詳細を隠す

WLAN | アクセスポイント | ラジオ | インターフェイス | セキュリティ | サードパーティトンネル | サービス | システム | IoT | 設定監査

WiFi マルチメディア

その他

- 6GHz メッシュで無効化:
- 無通信のタイムアウト: 1000 秒
- ステルスモード:
- 最大クライアント数のしきい値: max
- ローカルプローブ要求のしきい値:  自動  手動 0
- 認証要求の最小 SNR:  Automatic  Manual 0
- 無通信状態の端末へ deauth を送信:
- アップリンクなしで使用可能:
- 次の場合に SSID を無効化: なし
- VLAN 内トラフィックを拒否:**

⚠ この機能をトンネルSSIDでサポートするにはAOS 10.6.0.0以降が必要です。

- 管理フレーム保護:
- ファインタイミング測定 (802.11mc) レスポンスモード:
- AP 名のアドバタイズ:


© Copyright 2024 Hewlett Packard Enterprise Development LP | Privacy | Terms of Use | Ad Choices & Cookies | キャンセル | 設定の保存

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### 7.5. 時間ベースの SSID 制御

AP では SSID 毎に時間制限を行うことができる  
ゲストに対しての利用時間を制限したい等で利用を行う

- ① フィルターアイコンよりグループを選択
- ② 左メニューより“デバイス”を選択し、右上の“設定”  ボタンをクリック
- ③ アクセスポイントタブ内の“システム”(見当たらない場合は、“詳細の表示”をクリック)より、“時間ベースのサービス”から + ボタンで利用時間のプロファイルを作成



The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface. The left sidebar has "デバイス" (Devices) selected. The main content area is under the "システム" (System) tab, with "時間ベースのサービス" (Time-based services) selected. A table titled "時間ベースのプロファイル" (Time-based profiles) is shown with a "+" button to add a new profile. The table has columns for "名前" (Name), "時刻" (Time), and "アソシエーション" (Association). Below the table, there is a message "表示するデータがありません" (No data to display).

- ④ 任意の名前、利用時間を指定し、OK をクリック



The screenshot shows the "新しいプロファイル" (New Profile) dialog box. It has fields for "名前" (Name) with the value "employee", "タイプ" (Type) set to "定期的" (Periodic), "繰り返し" (Repeat) set to "毎日" (Daily), and "日付範囲" (Date range) set to "月曜日～日曜日 (全日)" (Monday to Sunday (All day)). The "開始時刻" (Start time) is set to 8:00 and the "終了時刻" (End time) is set to 19:00. There are "キャンセル" (Cancel) and "OK" buttons at the bottom.

- ⑤ WLAN 設定に戻り、時間プロファイルを割り当てる SSID の鉛筆マークから編集する



The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface with the "WLAN" tab selected. A table titled "無線SSID" (Wireless SSID) is shown with columns for "名前 (プロファイル)" (Name (Profile)), "セキュリティ" (Security), "アクセスタイプ" (Access type), "トラフィック転送モ..." (Traffic transfer mo...), and "ネットワーク有効" (Network enabled). The table has one row with the name "mail-auth", security "キャプティブポータル..." (Captive portal...), access type "制限なし" (No restriction), traffic transfer mode "ブリッジ" (Bridge), and network enabled "はい" (Yes). There is a pencil icon in the "ネットワーク有効" column. Below the table, there is a "+ SSID の追加" (Add SSID) button and a "1 SSID" indicator.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

- ⑥ “詳細設定”をクリックし、“時間範囲のプロファイル”で先ほど作ったプロファイルを有効  
設定の保存をクリックし、SSID 設定を終了する  
時間サービスの設定を行った場合、該当の時間のみ SSID を出力するようになる  
\* この設定を行う場合、合わせて NTP 設定を行う必要があります。

The screenshot shows the configuration page for a WLAN in the AOS10 interface. The left sidebar contains navigation menus for various system components. The main content area is titled 'WLAN' and includes sections for 'Wi-Fi マルチメディア', 'その他', and '時間範囲のプロファイル'. A message indicates that NTP is required for this feature. A profile named 'employee (Periodic Daily 09:00 - 19:00)' is shown as active. Below this is a grid for defining the profile's schedule across days of the week and hours of the day. The grid shows that the profile is active (green) from 09:00 to 19:00 on Monday through Friday, and inactive (red) at other times. At the bottom right, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '設定の保存' (Save Settings), with the latter being highlighted by a red box.

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								
SUN																								



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

## 8. アラートとレポート

### 8.1. アラートの設定方法

Central ではデフォルトの通知ポリシーに沿ってアラートを出すことができます。

デフォルトの通知ポリシーを編集することも可能です。

本設定では仮想コントローラの接続が解除された際に、指定のメールアドレスへ通知メールが来るように設定をします。

1. フィルターがグローバルになっていることを確認の上、“アラートおよびイベント”を選択し、右の設定ボタンをクリック

The screenshot shows the HPE Aruba Networking Central interface. On the left, the navigation menu has 'アラートおよびイベント' (Alerts and Events) highlighted. The main content area shows the 'Alerts' tab with a summary of 77 alerts. A table lists recent alerts with columns for '発生日' (Occurrence Date), 'カテゴリ' (Category), '重大度' (Severity), and '説明' (Description). The 'Severity' column shows 'major' for all listed alerts.

2. アクセスポイントの中から“AP 切断”をクリック

The screenshot shows the configuration page for alerts. The 'Alerts and Events' menu item is highlighted. The main content area shows the 'Alerts and Events' configuration page. The 'Access Point' filter is selected. A table lists various alert types, including 'AP 切断' (AP Disconnection), which is highlighted. The table columns include 'Alert Type', 'Status', and 'Notification Policy'.

3. 重要度を“クリティカル”とし、グループを指定

電子メールアドレスのチェックボックスにチェックを入れ、通知を送るメールアドレスを指定する

保存をクリックすると、仮想コントローラの接続が解除された際に、指定メールアドレスにメール通知が来るようになる

The screenshot shows the configuration page for the 'AP 切断' alert. The 'Severity' is set to 'Critical'. The 'Notification Policy' is set to 'Email'. The 'Group' field is set to 'AICT-Aruba-AOS10'. The 'Notification Options' section shows that 'Email' is selected, and the default recipients are listed as '(0)'. The email address '@hpe.com' is visible in the recipient list.

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

## 8.2. レポートの出力方法

Aruba Central では現在 5 カテゴリ、25 種類のレポートタイプを出力可能です。

1. 左メニューから“レポート”を選択し、“作成”ボタンから新規レポートを作成



2. どのタイプのレポートを作成するのかを選択し、次へをクリック



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 3. レポートを作成する確認対象を確定させ、次へをクリック

顧客: Aruba Japa... レポート

作成対象: クライアントインベントリ

確認対象: コンテキスト: グループ

レポート期間: 昨日

スケジュール: 今すぐ  
Nov 13, 2024

**コンテキスト**

- グループ
- ラベル
- サイト

**グループ**

グループ別フィルタ

- All
- 6100test
- 6300M-UTokyo
- 7F-VPNC
- 9004-LTE
- AICT-Aruba-AOS10
- AICT-Aruba-AP
- AICT-Aruba-BGW

**適用フィルタ**

- なし
- ロール
- SSID

キャンセル 戻る **次へ**

#### 4. レポートに出力する期間を指定し次へをクリック

顧客: Aruba Japa... レポート

作成対象: クライアントインベントリ

確認対象: コンテキスト: グループ

**レポート期間**

- 昨日
- 過去 7 日間
- 過去 30 日間
- 最終暦月
- カスタム範囲

キャンセル 戻る **次へ**



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

#### 5. レポートを出力する日時を指定し、生成をクリック

顧客: Aruba Japa... レポート

作成対象: クライアントインベントリ | 確認対象: コンテキスト: グループ | レポート期間: 前日 | スケジュール: 今すぐ Nov 13, 2024

**繰り返し**

- 1回(今すぐ)
- 1回(後で)
- 毎日
- 毎週
- 毎月

**レポート情報**

レポートタイトル  
Client Inventory

電子メール送付先  
@hpe.com

電子メール形式  PDF  CSV

キャンセル 戻る **生成**

スケジュールしたレポートを管理するには“管理”ボタンから、生成したレポートを確認する場合は“参照”から行えます

顧客: Aruba Japa... レポート

**参照**

レポートを閲覧します

602 生成したレポート

0 過去7日間に生成

**参照**

**管理**

スケジュールされたレポートを管理します

0 スケジュール済みレポート

0 今後7日間に実行

**管理**

**作成**

レポートを作成し、スケジュールを設定します

5 カテゴリ

25 レポートタイプ

作成

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

## 9. フロアプラン

### フロアプランについて

Central ではサイトごとの無線を可視化することができます。また、展開済みの AP だけではなく、仮想的に AP を配置したカバレッジシミュレータとして使用することができます。

1. 可視化したいサイトを選択。上部タブの“フロアプラン”を選択後、“フロアの追加”をクリック



2. “編集”を選択して、“新しいフロアプラン”をクリック



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

3. サイトの図面をアップロードする。jpg、jpeg、gif、bmp、pdf、png、dwg、svg 形式をサポートしています。

新しいフロアプラン

フロアプランファイル

サポートされるファイル形式: jpg、jpeg、gif、bmp、pdf、png、dwg、および svg。

フロア名

フロア番号

4. フロアプランの寸法より、“測定”をクリック。図面にドラッグで線を引き実測値を入力(フィート、メートルをサポート)

フロアプラン インポート

AICT-ArubaOffice > フロア 1

距離を入力

今描いたラインの長さは 164.39 です。ft.  
測定した距離の長さはどれだけですか? (in フィート)

新しいフロアの定義

- ① 拡大縮小
- ② 地域
- ③ CAD レイヤー
- ④ アクセスポイント

フロアプランの寸法

測定

幅  ft.

長さ  ft.

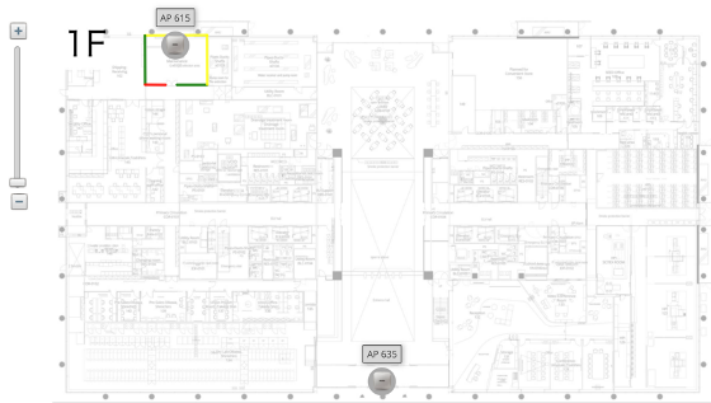
5. アクセスポイントを追加する
- 展開済みデバイスを追加する場合  
"展開済みデバイスの追加"よりサイトに登録している AP を選択。AP をドラッグして実際の位置に配置する。



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

AiCT-ArubaOffice > フロア 1



プロパティ 表示 編集

描画

- 領域を描く
- 壁を描く

デバイス

- 展開済みデバイスの追加
- 計画済みデバイスの追加
- 展開済みデバイスをすべて削除
- 計画済みデバイスをすべて削除

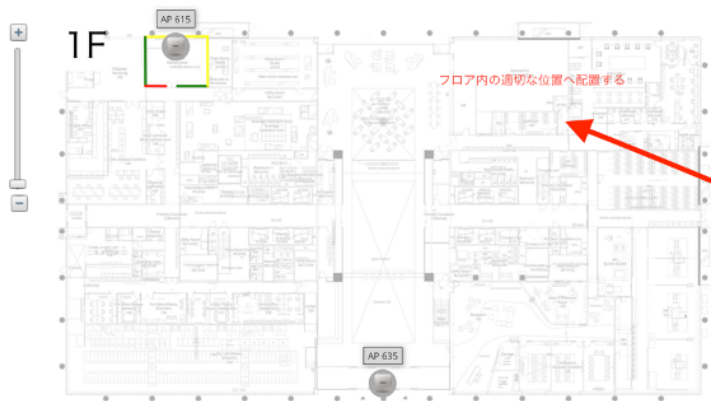
アクション

- すべてを選択
- フロアプランのエクスポート
- 元に戻す
- 新しいフロアプラン
- 計画されたデバイスを自動一致更新
- 背景の入れ替え

Exit Edit Mode

フロアプラン インポート

AiCT-ArubaOffice > フロア 1



フロア 1

プロパティ 表示 編集

描画

- 領域を描く
- 壁を描く

デバイス

個別の AP をドラッグ... ドロップします

サイト別 ▼ 検索

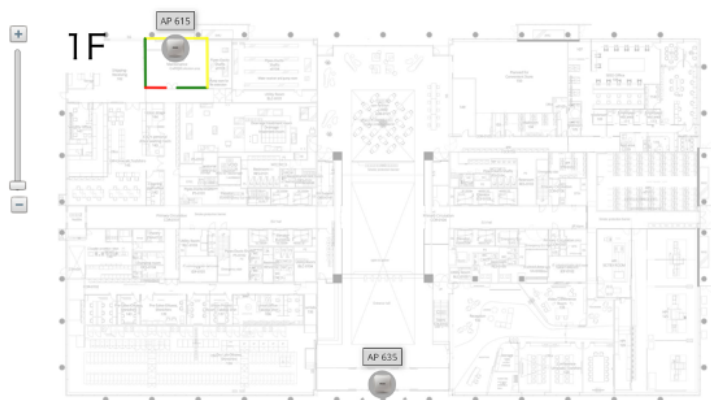
- AiCT-ArubaOffice
- AiCT-Aruba-503H

1/4

追加済みの AP を表示しない

- b. 仮想的にデバイスを配置する場合  
“計画済みデバイスの追加”より配置したいモデルを選択。AP をドラッグして配置する。

AiCT-ArubaOffice > フロア 1



プロパティ 表示 編集

描画

- 領域を描く
- 壁を描く

デバイス

- 展開済みデバイスの追加
- 計画済みデバイスの追加
- 展開済みデバイスをすべて削除
- 計画済みデバイスをすべて削除

アクション

- すべてを選択
- フロアプランのエクスポート
- 元に戻す
- 新しいフロアプラン
- 計画されたデバイスを自動一致更新
- 背景の入れ替え

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

AiCT-ArubaOffice > フロア 1



6. APを追加した後、“編集”から“壁を描く”をクリック。フロアプランにドラッグで壁を描画する。



## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

7. プロパティから壁の材質を選択可能。壁の材質によって電波の減衰が定められており、リアルタイムにヒートマップが変化する。

フロアプラン インポート Exit Edit Mode

AiCT-ArubaOffice > フロア 1

コンクリート  
プロパティ 表示 編集

壁

素材 コンクリート

減衰 15 dB

Save Cancel

← [1] フロア 1

AP 615 | 1/52/81 | 12/18/18

## Technical Note

### HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編(AOS10)

## 10. AIOPs

### AIOPs について

AIOPs は主に AI Insights・AI Assist・AI Search の 3 つの AI の機能から成り立っています。

今回は AI Insights に焦点を当ててご説明いたします。

Central では AI によってネットワーク内の問題を特定し、ピンポイントの推奨構成を提案します。

### AI Insights

AI Insights のダッシュボードには、ネットワークに影響を与える可能性のあるイベントのレポートが表示されます。これは選択した時間範囲、特定のサイト・デバイスごとやクライアント毎のネットワークイベントのレポートが表示されます。

### AI Insights の表示方法

AI Insight の表示方法は Central で管理しているネットワーク、サイトごと、AP ごとの 3 通りあります。

- フィルターから“グローバル”を選択し、左メニューから“概要”をクリック
- 左上メニュー“サイト”より、AI Insights を見たいサイトをクリック。左メニュー“概要”をクリック
- グローバルより、左メニュー“デバイス”をクリック。AI Insights を見たい AP をクリック。左メニュー“概要”をクリック。

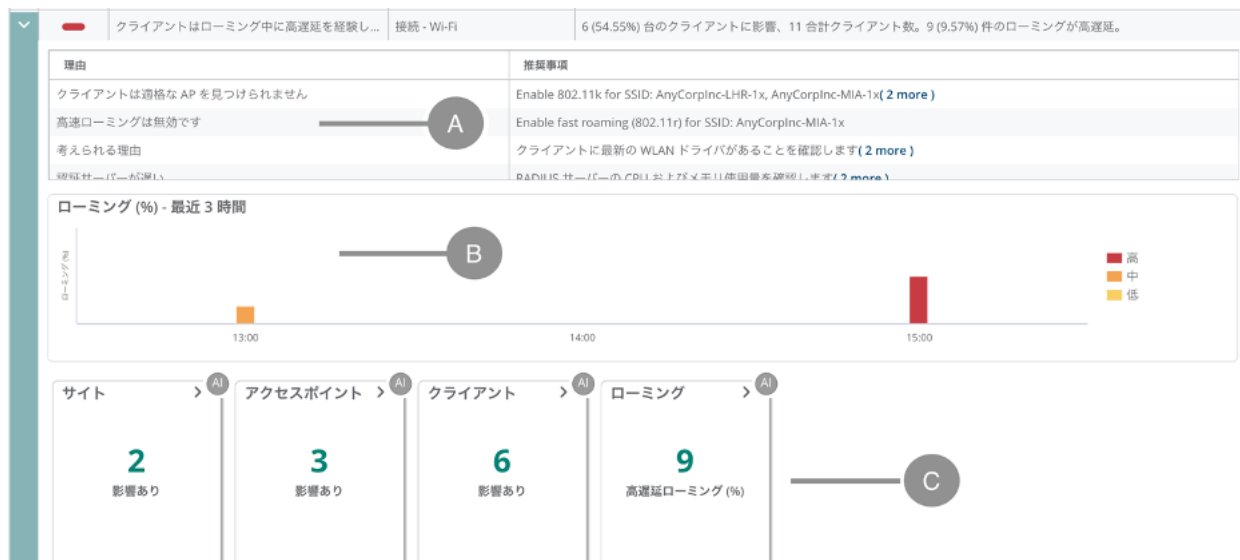
- “AI インサイト”タブをクリックし、各インサイトの矢印をクリックすると詳細を表示



- インサイトのタブについて
  - インサイトが生成された理由と推奨事項が表示されます
  - 選択した時間範囲で発生したイベントをグラフで表示しています
  - カードには各インサイト固有の追加情報が表示されます。

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)



## 11. メンテナンス

### 11.1. Version Up について

#### Version UP 方法

1. 左メニューから“ファームウェア”を選択し、アップグレードする AP を選択し“アップグレード”をクリック  
複数の AP を選択してまとめてアップグレードすることも可能です

顧客 [ユーザー名] | アクセスポイント | スイッチ | ゲートウェイ

グローバル

コンプライアンスの設定 | ↑ すべてアップグレード

アクセスポイント (8)

名前	現在のバージョン	サイト	推奨バージョン	アップグレードのステータス	コンプライアンスステータス
	8.9.0.1_82154		8.10.0.14_90752	新しいファームウェアを利用できません	未設定
	10.3.0.1_83396		10.4.1.5_91019	新しいファームウェアを利用できません	未設定
	10.4.0.3_87961		10.6.0.3_90581	新しいファームウェアを利用できません	未設定
	10.6.0.2_90095		10.6.0.3_90581	新しいファームウェアを利用できます	未設定
	10.6.0.2_90095		10.6.0.3_90581	新しいファームウェアを利用できます	未設定
	10.6.0.2_90095		10.6.0.3_90581	新しいファームウェアを利用できます	未設定
	10.6.0.2_90095		10.6.0.3_90581	新しいファームウェアを利用できます	未設定
	8.8.0.3_83072		8.10.0.14_90752	新しいファームウェアを利用できます	未設定

2 item(s) selected

2. ファームウェアのバージョン、アップデートする日時を選択し“アップグレード”をクリック  
※AOS 10 から AOS 8 へダウングレードすることも適切なファームウェアを選択することで可能です。

アクセスポイントファームウェアのアップグレード

ファームウェアバージョン

時期  
準備を確認し、非標準デバイスを初めてアップグレードする時期を指定します。

今日  後日

キャンセル アップグレード



## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

## 11.2. ツール

### ネットワークチェック

デバイスタイプ、テストのタイプ、ソースを選択し、パラメータを設定してテストを実行できる

1. 左のメニューより“ツール”を選択し、ネットワークチェックのタブをクリック
2. デバイスタイプ、テスト項目、ソース等を指定し“実行”ボタンをクリックし、デバイス出力より結果を確認する。  
デバイス出力は電子メールでの共有、あるいはテキストベースでのアウトプットが可能

The screenshot displays the HP E Aruba Networking Central interface. On the left, a navigation menu includes 'ツール' (Tools) which is highlighted with a red box. The main content area shows the 'ネットワークチェック' (Network Check) tab, also highlighted with a red box. Below the tab, there are configuration fields for 'デバイスタイプ' (Device Type) set to 'アクセスポイント' (Access Point), 'ソース' (Source) set to 'CAFE-505-AOS10', and 'テスト' (Test) set to 'Ping テスト' (Ping Test). The 'ターゲット' (Target) is set to 'ホスト名/IP アドレス' (Host Name/IP Address) with the value '8.8.8.8'. A red box highlights the '実行' (Execute) button. Below the configuration, there is a section for 'デバイス出力' (Device Output) showing a list of devices. The output for 'CAFE-505-AOS10' is displayed in a dark panel, showing the command 'ping 8.8.8' and the result 'PING 8.8.8 (8.8.8): 56 data bytes'. A red box highlights the search, email, download, and refresh icons in the top right of the output panel.

## Technical Note

### HP E Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

#### 11.3. リモートコンソール

Central では GUI から AP の CLI がひらけます

1. 左メニューより“ツール”を選択し、“コンソール”タブを開きます。デバイスタイプとデバイス、ユーザ名とパスワードを入力し、“新規セッションの作成”をクリックするとリモートコンソールがスタートします。

The screenshot displays the HPE Aruba Networking Central interface. At the top, the 'コンソール' (Console) tab is selected and highlighted with a red box. The left sidebar menu has 'ツール' (Tools) highlighted with a red box. The main content area is titled 'リモートコンソールセッション' (Remote Console Session) and contains a form for creating a new session. The form fields are: 'デバイスタイプ' (Device Type) set to 'IAP', 'アクセスポイント' (Access Point) set to 'IAP', 'ユーザー名' (Username) set to 'XXX', and 'パスワード' (Password) masked with asterisks. A '新規セッションの作成' (Create New Session) button is highlighted with a red box. Below the form, the 'リモートコンソール' (Remote Console) window is open, showing a terminal session for 'IAP'. The terminal output includes the prompt 'admin@IAP [07:14:38 PM]', the command 'dbclient:', and the output 'Host 'localhost' key accepted unconditionally. (ssh-rsa fingerprint md5 50:09:a8:5b:c4:0f:86:a3: [redacted])'. Below this, there is a message: 'show tech-support and show tech-support supplemental are the two most useful outputs to collect for any kind of troubleshooting session.' The terminal prompt is 'IAP#'. At the bottom of the terminal window, a green bar indicates the session start time: '[2023 Mar 27 07:14:39 PM] Ssh session started'.

© Copyright 2023 Hewlett Packard Enterprise Development LP

Privacy Terms of Use Ad Choices & Cookies Do Not Sell My Personal Information

## Technical Note

HPE Aruba Networking Central 基本操作ガイド AP 編 (AOS10)

## 12. AP の削除

### グループからの削除方法

グループからデバイスを削除する方法は Aruba Central 基本操作ガイド 入門編を参照

<https://www.hpe.com/psnow/doc/a00143744jpn>

### デバイスインベントリからの削除方法

Aruba Central からデバイスを完全に削除することはできませんが、アーカイブにデバイスを移動させるか、デバイスのサブスクリプションを解除することはできます。

### グループの削除

グループの削除は中身が空の状態の時のみ

詳しくは、Aruba Central 基本操作ガイド 入門編を参照

<https://www.hpe.com/psnow/doc/a00143744jpn>

## 13. 不具合かと思ったら

詳細な不具合内容、物理構成、不具合発生時のログ、コンフィグ、不具合再現方法をそろえた上で製品を購入した弊社販売代理店へご連絡ください。販売代理店側のサポート経由で弊社 TAC が対応をいたします。

### 解析に必須となるログ取得

全ての AP の “show tech support dump” および、“show tech support dump supplemental” は必須となります。

以上

a00144015jpn